

## Text and Narration of Chinese Oral Narrative : The Case of the Narrative Music Genre Laoting Dagu

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井口, 淳子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15021/00004188">https://doi.org/10.15021/00004188</a>

## 中国・口承長篇物語のテキストと語り

—語りもの「樂亭大鼓<sup>1)</sup>」にもとづいて—

井 口 淳 子\*

Text and Narration of Chinese Oral Narrative:  
The Case of the Narrative Music Genre *Laoting Dagu*

Junko IGUCHI

In the rural area of northern China in which orality predominates over literacy in verbal communication, traditional long stories are not read but listened to through regional opera, narrative music and other oral performances. In this paper we deal with the narrative music genre *laoting dagu*, found throughout Laoting and Luannan county, Hebei province in China. In the *dashu* (extended tale) of *laoting dagu*, traditional long stories are presented as alternations of song and narration. Most of the long stories, e.g. the famous “*Yangjiajiang*” (the warriors of the Yang family) and “*Baogongan*” (the Judge of Bao) have been widely diffused. Their plot and content are common, to some degree. But the text, which is orally sung and narrated, differs from region to region, genre to genre and even performer to performer. The main reason for this variability is that the stories have no written text and the performer has no need to memorize one. Nevertheless many performers can narrate the story for several weeks or even several months successively. How is this possible? Performers say that they improvise the text; they compose it at the actual moment of performance. On the other hand, Some parts of the text they narrate is a conventional one laid down by tradition. What parts are transmitted and what are composed in actual performance is the main question of this paper. Some scholars of literature consider that the *dashu* belongs to the *guci* tradition, literary works for singing and narrating published in Beijing and other cities during the late

---

\* 日本学術振興会特別研究員，国立民族学博物館外来研究員

**Key Words** : rural China, oral narrative, narrative music, *laoting dagu*, text  
キーワード : 中国農村，口承物語，語りもの，樂亭大鼓，テキスト

Qing and Minguo periods. Most repertoires of *dashu* are included in the list of *guci*. If *guci* was diffused to the rural area in past, why was not *guci* transmitted to and memorized by performers? This is the second question of this paper.

To solve the first question, three versions of the text of “*Qingyunjian*” (The Blue Cloud Sword) are compared and analysed. “*Qingyunjian*” is a popular oral narrative. An accompanist of *laoting dagu* arranged and wrote down the text of “*Qingyunjian*” for his partner, a narrator of *dashu*. This written text and two versions narrated in the village of Luannan in 1990 and 1993 are taken as examples. The narrator read the written text once or twice, but he did not memorize it in general. In performance, he improvised, based on the plot and content of the written text. While he was narrating, the text was composed, so the written and oral texts are very different from each other. In the process from written to oral, the only unchanged text was a set of verses describing one of the characters. Except for this, the narrator told the story in words familiar to the audience. The two oral texts are very close to one another, in spite of a three year interval and different conditions. This example of “*Qingyunjian*” makes it clear that once the narrator has improvised the text, it comes to be relatively fixed. By analogy with this process of transmission and composition of “*Qingyunjian*”, the reason why the *guci* texts were not transmitted orally or in written form by generations of performers is clarified. For the performers in rural districts, the written text has no priority over oral tradition. In *laoting dagu*, it can be said that the text exists only in the performance.

はじめに	2.2 滝水と死詞
1 大書と鼓詞	3 パフォーマンスのなかで生成されるテキスト
1.1 テキストの多様性	3.1 書詞『青雲劍』の成立過程
1.2 「大書」の成立	3.2 書詞と上演テキストの比較
1.3 「鼓詞」	3.3 伝えられるものと新たに生みだされるもの
1.4 鼓詞と樂亭大鼓	おわりに
2 大書の伝承と演唱	
2.1 小段と大書の修得法	

## はじめに

中国農村，そこは，中国という文字文化圏にありながら過去においても今日でもいわゆる「文字文化」とは縁遠い世界でありつづけてきた。当論が対象とする河北省東部地域も非識字者のめずらしくない<sup>2)</sup>，典型的な農村地域である。そして，このような農村において豊かにいきづいているのが，民衆の間に伝わる無数の物語を源泉とする「語りもの<sup>3)</sup>」や地方劇，影絵芝居などの口承文化である。

当論でとりあげるのはこの河北農村地域の語りもの「樂亭大鼓（ラオティンタークー）<sup>4)</sup>」である。語りものとはいうまでもなく「物語」を語る（ときにはうたう）芸能である。そして，その語りかた，うたいかたは地方によって当然異なっている。つまり，言語音を異にする方言域ごとに固有の曲種を有するのである。「樂亭大鼓」は，北方に多くみられる「大鼓（タークー）<sup>5)</sup>」類の一種であるが，河北省東部に位置する樂亭（ラオティン）県，灤南（ルアンナン）県<sup>6)</sup> 一帯，つまり「樂亭話」という方言がはなされる地域を中心に流布している。樂亭大鼓においては，従来，語りうたわれる長篇物語「大書（ターシュー）」は，主として，口頭で創作され，口頭で伝承されてきた。実際，農村の藝人（イーレン）は，台本など規範的とよべるテキストがない状態で，既存のテキストを暗記するわけでもなく，毎晩，数時間，1ヶ月以上の長期間にわたってテキストをつむぎだすことができる。また逆に，ふつうなら1ヶ月以上かかる長篇ものを3日で語りきることも可能である。つまり，一回一回の上演毎にテキストが口頭で生成されるのである<sup>7)</sup>。このように上演（パフォーマンス）のなかでテキストをつむぎだすこと<sup>8)</sup>を現地では「改編（ガイピエン）」と称している。改編とはその字の示すとおり，すでにあるものを改めて編みなおすことであり，それは，物語をゼロの状態から新たにつくりだすという意味での「創作」ではない。しかし，そのような営みが繰り返されるなかで生まれてくるさまざまなレベルの創作行為に中国の民間文学研究者は「口頭創作（コウトウチュアンツォ）」<sup>9)</sup>という用語をあてている。曲藝のなかでも大書のように規範となるテキスト，既存のテキストがなく，上演の場ではじめてテキストが生まれるというような場合は，創作あるいは改変の契機を多くはらんでいるといえる。しかし，ここでは，長期的に無数の人々の口と耳とを経た結果，達成される「創作」についてではなく，ある一人の藝人が大書を演唱する際にテキストがどのようにつむぎだされるのか，つまり通時的におこなわれる口頭創作の「一断面」としての「改編の一プロセス」を具体的な事例をもとに明らかにしてい

きたい。

このような伝承—演唱のプロセスの解明のなかであぶりだされるのが、口頭性と、それと相対する書面性との関係である。中国の語りものにおいては、伝承のなかで表面的には文字テキストが用いられていなくても、さまざまな形で文字テキスト、すなわち「書詞（シューター）」の影響や相互作用を受けてきている。書面性との関係を明らかにすることは口頭性について考える上で不可欠な手続きである。したがって本論では、語りもの「大鼓」に深い関わりをもつ講唱文学（ジャンチャンウェンシュエ：うたい語られることを目的として書かれた文学作品）の一種「鼓詞（クーツー）」について、農村地域における鼓詞の伝承を中心に考えていく。

以上の問題は、いうまでもなく、現地（農村）に存在する資料をもとにしてはじめて明らかにできる問題である。しかしながら、これまで、大鼓に関する研究史のなかでは農村の大鼓を農村の資料によって研究するというごく当たり前のことが徹底されず、都市部で出版された刊本などの文字資料を中心的に扱ってきた<sup>10)</sup>。当論では、農村の語りものなかでも、その伝承が最も口頭的である長篇もの「大書」を対象とすることから、必然的にそこで用いられる資料は河北省樂亭県、灤南県における現地調査<sup>11)</sup>で集められたものになる。つまり、「現地の藝人たちの発言」、「かれらが自ら記した記録」、「実際の上演で語りうたわれたテキスト」が資料の中心となる<sup>12)</sup>。

## 1 大書と鼓詞

### 1.1 テキストの多様性

樂亭大鼓は、この地の他の口承文化と同様に、民衆の間に深く浸透した数多くの物語を源泉としている。では、その「物語」とはどのようなものなのだろうか。今日、農村で語りうたわれている長篇物語の多くが明、清代に成立したといわれる伝統的な物語である。それらの物語は、「小説（シャオシュオ）」<sup>13)</sup>という文学ジャンルや戯劇の題材と多く重なるものであり、内容的には史実にもとづきそれを敷衍した歴史もの、武俠の活躍をえがく俠義もの、裁判事件をあつかった公案ものが大勢をしめる。

『三国志演義』や『水滸伝』のように有名な物語の場合はもとより、長篇物語の多くが地理的に非常に広い範囲に広まっている。そして、その筋や内容は、小説などの刊本の各地への普及によりある程度の共通性をもっている。しかし、語りものにおいて用いられる個々のテキスト（実際に語られ、うたわれるテキスト）はそれぞれの地方

において独自に口頭で創作、伝承されてきたものである。語りものテキストの多様性を生み出す要因は、これらの長篇物語が規範となるべき台本をもたなかった点にあるが、同時に曲種毎の表演様式の違いもテキストのヴァリエーションを生み出すことに大きく作用していると考えられる。例えば、河北省には語りもののジャンルが28種あるとされ、「〇〇大鼓」とよばれる語りものが8種みられるが、それぞれがその地の方言とその大鼓特有の演唱様式を保持している。仮に同じ台本が伝わったとしても、曲種が違えばそれぞれの様式に合うように改編されて演唱される。例えば、河北省を含む北方農村地域において、現在も農民に支持されている長篇物語に『呼家將』、『楊家將』、『施公案』などがあるが、これらの物語は大鼓の諸ジャンルによって共有されているものの、それはいわば書目（シュームー：題目）を共有しているだけである。物語の細部、さらに演唱テキストにいたっては口伝の経路や演唱スタイルが違えば、異なるのが当たり前ということになる。

## 1.2 「大書」の成立

河北省東部の農村は小麦、コウリャン、トウモロコシなどを主作物とする華北の典型的な農村地域であり、そこでの農業周期は農繁期の春、夏、秋と農閑期の冬（11月半ばから3月初旬まで）に分かれている。長い農閑期や農繁期の谷間には農作業もなく、そのような期間に語りものは上演される。大書、その語りが蔓のように際限なく伸びていくことから別名「蔓子活（ワンズフオ）」とよばれる樂亭大鼓の長篇ものはこのような農業周期に支えられて成立してきたと考えられる。

では、そもそも大書という長篇もののレパートリーはいつ頃、どのように成立したのだろうか。この点については、考証にたえる資料が少ないため定かでない。そもそも、樂亭大鼓という曲種がいつ頃成立したのかについても定説はないのである。樂亭、灤南県内で有力な説となっているのは、1850年前後に、すでに当地に存在していた語りものに対して「樂亭大鼓」の名がつけられたということである。県内で伝えられているもっとも古い藝人、温榮（温鉄板）の存命期間は1800年代の前半から1900年代初頭であり、この期間に演奏形態がそれまでの木板にかわって鉄片を用いる今日の形に固まったといわれている。劉志山氏（元灤南県曲藝隊隊長）が集めた聞き書き集によると、著名藝人22名（もっとも古い人は1850年代に生まれている）の書目があげられているが、それらの書目は「鼓詞」とよばれる語りものの台本の書目とおおむね重なっている。都市で出版された鼓詞がどの程度農村に伝播したのかは明らかでないが、今日でも若干の鼓詞が農村に残っていることや、文革以前には市や商店で売られても

いたということから鼓詞は灤南県、樂亭県にも少なからず伝わっていたと考えられる。以下、北京に現存する鼓詞<sup>14)</sup>をもとにその概要にふれておきたい。

### 1.3 「鼓詞」

「鼓詞」とは、文学史のなかでは明、清代の講唱文学の一ジャンルととらえられている。つまり、鼓詞は、文学ジャンルであると同時に大鼓に先行するある語りもののジャンル名であった。語りものである「鼓詞」がいつ成立し、どのような演唱スタイルを有していたのかについては不明な点が多い。鼓詞という名のとおりに、鼓（太鼓）を伴奏楽器として用いていたことだけがしられている。説（シュオ：語り）と唱（チャン：うた）が規則的に交替する北方の長篇語りものは明代末期の刊本『木皮散人鼓詞』（賈鳧西という明末清初の作家が鼓詞を擬して創作した作品）が証明するように明代末期には存在していたと考えられている。その後、清代中期になると北方には各地方に大鼓類が次々に誕生し、大鼓の長篇ものに鼓詞というテキストのスタイルは受け継がれていったと考えられる。地方の大鼓の場合、その分布地域はいうまでもなく農村地域である。農村においては晩秋から初春にいたる4、5ヶ月にわたる長い農閑期が存在するために大書の演唱が可能であり、必要とされる。語りもののジャンルとしての鼓詞が都市部で上演されなくなって消滅しても、テキストとしての鼓詞は連続と創作、出版されつづけ、鼓詞という名称も「大鼓の書詞」の意味にとられるようになっていった。

とくに、樂亭大鼓に関係づけて考えるならば、この語りもののジャンルが成立し、その後広まっていく清代末期から民国期にかけては、鼓詞が北京や上海および地方都市でさかんに出版されていた時期に重なっている。当時の鼓詞がどのようなものであったのかを現存する刊本をもとにのべておきたい。

清代末期から民国時代にかけては印刷技術の発達もあって、膨大な数の鼓詞が発行された。しかし、それが正統な文学作品でなく保存の対象になるようなものでなかったため、現存するものは氷山の一角にすぎないと想像される。例えば北京市では各図書館によって収集内容に偏りがあり、いくつもの図書館の所蔵本をあわせてみてはじめて、上海、北京、成都などの大都市には鼓詞を出版する書店が多数存在していたことがわかる。しかし、現在目にするのできるこれらが、当時存在していた書店とその刊行物をどの程度網羅するのかについては見当もつかないのである。しかし、清末から民国期にかけて出版された刊本を数多く目にするによって鼓詞に共通する特徴が明らかになってきた。

少数の例外はあるが、刊本の大きさはおよそタテ15 cm ヨコ9 cm 前後と統一性が高い。長篇の場合は数十巻にのぼるため分冊になるが、一冊の厚さは薄く、手にもってちょうど見やすい大きさと厚さである。表紙や扉には題目のほか、出版年、出版地、書店名などが記される場合もある(写真1)。題目の上に「絵図」、「繡像」とつくものは、本文の前に主な登場人物や、場面の絵図が数ページにわたって続く。本文は大きく分けて、巻頭、回頭におかれる4句(行)の詩(詞)をのぞくと、散文と韻文の二部分に分かれ、散文の部分には白(語り)、韻文の部分には唱(うた)と記されている場合もある。これは、この刊本を用いてそのまま演唱するならば、散文の部分を語り、韻文の部分を旋律をつけてうたうことを指示している。白の語りははじめには決まり文句「閑言少叙書帰正傳(むだ話はきりあげて本題にもどろう)」、「書接上回説的是…(前回のつづきをはじめよう)」などのことばがおかれ、物語の叙述に入っていく。回のおわりには「…再聴下回書(次回をお楽しみに)」といったことばでしめくられる。こういった決まり文句は語りの藝人が聴衆にむかって語りかける現場の状況を再現している。この散文と韻文の量的配分と交替は終始一貫して規則正しくおこなわれるのが普通である。しかし、本ごとに散文と韻文の量的比率は異なっており、散文が圧倒的に多いものから、散文が2行ほどで韻文が数十行といった割合のものもある。このような鼓詞が実際の上演を記録したものなのか、あるいは、文人が一個の作品として書き上げたものなのかについては、各鼓詞毎に状況は異なっているだろうが、どちらの性質も含んでいると考えるべきであろう。多くの場合、実際の上演にもとづきながらも、文字化する際にそれを整理し、改良したにちがいない。例えば、白の部分の余計な重複をけずったり、俗な口語を文言(書きことば)にかえてみたり、唱の部分の押韻を工夫するなどである。いずれにしても、鼓詞はそれに先立つ小説や



写真1 鼓詞『繡像劉公案鼓詞』 民国9年(1920年)上海書局石印(北京大学蔵)



戯曲など他ジャンルのテキストを改編してつくられる場合も多く、純粹な創作作品ではない。作者は創作者ではなく、改編者であった。

#### 1.4 鼓詞と樂亭大鼓

表1に示すとおり、現在まで伝わる樂亭大鼓の大書の書目のほとんどが鼓詞の書目と重なっている。

書目が一致するゆえ即、大書は鼓詞を用いたものというわけではないが、前述のように現在も樂亭、瀨南両県には鼓詞が保存されていることや、おなじく清代到北京で発行された「子弟書」が当地に数多く伝播し、小段に用いられていることから類推するならば、鼓詞もこの地に伝播していたと考えるのが自然である。ただ、鼓詞の刊本が伝播していたとしても、どのように（鼓詞の何が）受容されたのかについて留意する必要がある。そのテキストがそのまま演唱された、あるいは厳密な意味での書承がおこなわれたということは、現在の大書のテキストのあり方から考えて否定できる。筆者が瀨南県に鼓詞の刊本を持参した際にも、そのような刊本が文革前には市などで売られていたこと、しかし、鼓詞があったとしてもそれをそのまま暗記するのではないという以下のような説明をうけた。

「こういった刊本は昔は農村にもあって、店屋などで売っていたよ。六〇年代以降なくなったな。とくに文化大革命以降は燃やされてしまった。……われわれの間ではこういった本はそのまま使われるわけじゃない。たとえば、師匠が教えるときも、かれの語りを口づたいに教えるのであって、本をそのまま教えるのじゃない。なぜなら、売ってる本をそのまま教えるんだったらその師匠につく値打ちがないだろう。師匠が本をみてその故事（物語）の筋を自分の頭のなかで改編してつくり直したものを、これを弟子に伝えるわけだ。故事がよければ何だって大鼓になるしな。こうやって師匠が自分の工夫を加えた書詞は値打ちがあるが、この本そのものには値打ちはないんだ」（1993年7月6日瀨南県県城にて趙恩潮氏<sup>15)</sup>の発言）。

以上のように、鼓詞は当地に伝播しつつも、大書の来源は鼓詞である、というほどの直接的なつながりがあったとは考えにくい。そのことを傍証するのが以下のような地元研究者の説明である。

地元の研究者、趙桂丹氏によると、もともと、樂亭大鼓の形成初期には語るべきテキストが豊富に存在していたわけではないという。藝人達は書詞の不足のため大変な苦勞をし、さまざまな努力の末、1840年頃にはおよそ130あまりまで書目をふやした。その方法は、他の曲藝曲種や影絵芝居、椰子劇やその他の劇目を改編する、あるいは、

表1 灤南県、樂亭県に伝わる大書の書目<sup>16)</sup>

	灤南県 (伝承者数)*	鼓詞の有無*
包公案	0	有り
東漢演義	1	有り
呼家將	1	有り
回杯記 (中篇)	1	有り
回龍傳	3	有り
劉公案	2	有り
綠牡丹	4	有り
千里駒	1	有り
巧合奇冤	0	有り
秦英征西	0	有り
三省莊 (中篇)	2	有り
三下南唐	0	有り
施公案	5	有り
隋唐演義	1	有り
響馬傳	4	有り
小八義	2	有り
薛家將	1	なし
楊家將	2	有り
鸚鵡記	3	なし
月唐傳	0	なし
紫金鐺	2	有り

\*灤南県：数字は劉志山の調査資料 (22名の著名藝人に関するききとり) にもとづく伝承者の人数。

\*鼓 詞：筆者自身が図書館、資料館で存在を確認したもの、および、趙 [1957] に記載の刊本名を参照した。

注) 表1にあげた書目のなかで樂亭県の藝人が伝承している書目は17種である。ききとり調査および各種の記録からも伝承が確認できなかった書目は『回龍傳』、『綠牡丹』、『三省莊』、『鸚鵡記』の4種である。

貧苦の読書人に新たな書詞の創作を依頼するなどであった。このような書詞の中身は史籍故事によるもの、元、明、清三代の雜劇と傳奇によるもの、明清期の通俗小説によるものなどがあった [趙 1985: 19, 43]。

ここからうかがえるのは、大鼓だから鼓詞でなければならないというようなものでなく、曲種や、さらには (曲藝と文学というように) ジャンルが違ってもきわめて柔

軟にとりいれて「書詞化」していたということである。たしかに、大書の書目のなかには鼓詞の書目でもあり、かつ小説の題目でもあるものが少なくない。このような場合、鼓詞を通さず、直接小説から故事内容などを移植した可能性もある。また、少数ながら当地で流布していた民間故事が県内の文人（科挙に落第したものなど）によって書きおこされるという場合もあり、これは今日でも県域におかれている文化行政機関である文聯（文学藝術界联合会）などで伝統書目の整理や改編、あらたな現代書目の創作がおこなわれている状況と一致する。

以上のことがらをまとめるならば、大書のテキストの源は、その書目から推察して、「鼓詞」、「小説」、「他の曲種、劇種の唱本」、「当地の文人による改編、創作」の4種にもとめられる（この他に文字テキスト化されなかった純粹に口頭で創作、伝承されたものがあるであろう）。しかし、大書の書詞については「不用背詞、出口成章」（暗記する必要はなく、語れば文章になる）というのが伝統的な藝人の態度となっていることから、いったんは小説や鼓詞のような文字テキストを受容したとしても、その後の伝承のなかで元来のテキストがそのままのかたちで伝承されていったということは（特別な例外を除いて）なかったと考えられる。

## 2 大書の伝承と演唱

### 2.1 小段と大書の修得法

1では大書の来源について鼓詞との関わりを中心に述べたが、ここでは現在上演されている大書に論を移したい。

樂亭大鼓の一夜の上演は必ず、短篇もの「小段」に始まり長篇もの「大書」に続くという構成になっている。上演はふつう小段が半時間前後うたわれ、その後大書にうつっていく。大書の一夜の演唱時間はその時その場の状況によって左右されるため一定していないが、2、3時間が一般的である。小段と大書では演唱者が交替する場合が多く、2名一組で小段専門、大書専門というように役割分担している。しかし、個々の藝人はその修養期間においてまず、小段を学んだあととはじめて大書に進むことができる。そこで大書についてのべる前にこの小段についてふれておきたい。小段は大書に比べてはるかに文字テキストと密接なかかわりをもっている。

樂亭県の場合、小段は、現在およそ150篇の書目が伝わっている。現在演唱されているテキストの来源は比較的明らかで、そのなかには清代の講唱文学「子弟書」の作

品と同定できるもの、ほぼ同一と考えられるものが少なからず（10種前後）含まれている。子弟書以外にも書目および書詞が他の大鼓類と共通しているものが多くあり、それらは、清代以降文人によって創作された作品が樂亭に伝わってきたと考えられる。小段は藝人でなく作者が創り、書き記したものが、刊本や抄本として各地に伝播したとみることができる。

このような小段については農村の藝人たちの間に抄本が伝承されている場合もあるが、実際には、それらはいくまでも記憶の補助として用いられ、藝人は師匠から口頭で書詞を伝授される場合が多かったようである。藝人が非識字者であっても小段のテキストは厳密に伝承されている。小段は七言句など形の整った韻文体であり、語音の響きやリズムは暗唱に適しているからであろう（したがって意味が分からないまま、あるいはとりちがえて覚えていることも多い）。藝人はこのような小段の修得を経たのちによりやく中篇、長篇にとりかかる<sup>17)</sup>。

樂亭大鼓の長篇もの、「大書」については、すでにのべたように、鼓詞やそれにもとづく写本類は藝人の間に伝承されていないのがふつうである<sup>18)</sup>。したがって、大書においては小段のような固定したテキストはなく、書かれたものとの関わりは少ない。大書にも死詞（スーツ）とよばれる固定したテキストがかつてはあったようだが<sup>19)</sup>、長大なテキストの暗唱の困難さゆえ、今日では大書を完全に暗唱して上演できる者などいないとおもわれる。では、長いもので数カ月に及ぶ大書の演唱はどのようにして可能になるのであろう。瀋南県の著名な藝人であった李恩科（1917-1986）は盲目であったが、13種もの大書を自在に語ることができたという。そのようなことが可能になる長篇テキストの生成のプロセスを探ってみたい。

## 2.2 湊水と死詞

全ての大書のテキストは藝人によって「死詞」か、あるいは「湊水（タンシュイ）」に分類される。死詞とは、字義どおり動かない詞、既存の固定したテキストを指し、「相口（シャンコウ）」、「実詞実口（シーツージーコウ）」ともよばれる。湊水とは本来、「流れる水」の意で、上演の場で即興的につむぎだされるテキストを指す。藝人の発言のなかで異口同音にのべられるのが、「『死詞』がないとき、あるいは記憶できないときにやむを得ず『湊水』が使われる」という説明である。死詞、つまり既存のテキストをなぞる可変性の少ないテキストは湊水にくらべてはるかに価値の高いものとみなされてきた。したがって、自ら語ったテキストが湊水であると、周囲にみとめられるのを不名誉なことと感じる藝人もいる。しかし、実際には大書を徹頭徹尾、死

詞で語るということは不可能に近いことである。例えば、李恩科という藝人は弟子に大書の書詞を6夜分だけ伝授したという。6夜分の書詞がおそらく暗記するのに精一杯の分量であったのだろう。弟子達はこの6夜分の書詞をもとにこれをできるだけひきのばして上演時間をかせいだと回想している。

たしかに、長くて数週間から数カ月にいたる長篇テキストを全て記憶することは不可能である。したがって多くの場合、前もって決まっているのは、物語の筋(梁子(リャンズ)、穰子(ランズ)という。ともに建物のはりとか植物の麦類の茎という、ものの骨格を意味する)だけで、あとは要請された日数に応じて物語自体を伸縮自在に改編し、自分自身のことばで語ることになる。

大書の構成は、短いエピソード(登場人物や場面がそれぞれ少しずつ変化している)がそれぞれある程度の完結性をもってそのエピソードがくさり状につながっている、いわゆる小説における「章回小説」の構造と重なるものである。このエピソードにあたる現地の用語は「陀子(トウオズ)」という。陀子(かたまりの意)はある程度独立性のある小故事であるが、前後の陀子とつながってより大きなまとまり(陀子)を形成し、そのまとまりが大きくなっていった最終的には全体の大故事を形成していると説明される。最小の陀子から全体の物語まで、図1のように階層構造をなしている。

通常、うたと語りの交替はこの陀子の切れ目におこなわれる。というのも、語りからうたに移るときに演奏される間奏が物語内容における空間移動や場面転換を象徴するなど、語りとうたの位相の変化はそのまま物語内容の区切りになるからである。このように、大書は、大小のさまざまなレベルのエピソードの連なりによって構成されているため、上演の際に時間的余裕があれば小さなエピソードを丁寧に連ねていくし、逆に時間がなければあるエピソードを省略することも可能となる。ひとつひとつのエピソードが独立性をもつ小故事であるからこそ、大書は伸縮自在に語るができるのである。

ひとつひとつのエピソードは、登場人物の名や地名など固有名詞こそ違っても内容はきわめて典型的である。北方の長篇ものの内容を「金弋鉄馬」と端的に言い表すのもその内容が武事、戦闘に偏っているためである。戦闘や策略、逃亡、離別、再会などが繰り返される勧善懲悪的テーマは書目を超えて普遍的である。そのようなパターン化した内容に適した表現として、文言(書きことば)を用いた韻文体の「套(タオ)」、「贊(ツァン)」、「賦(フー)」<sup>20</sup>がある。例えば、「山」、「行路」、「雨」、「雪」、「城門」、「大街」などの風景描写のための韻文や、「十八武藝」、「二人闘」、「三人闘」、「軍

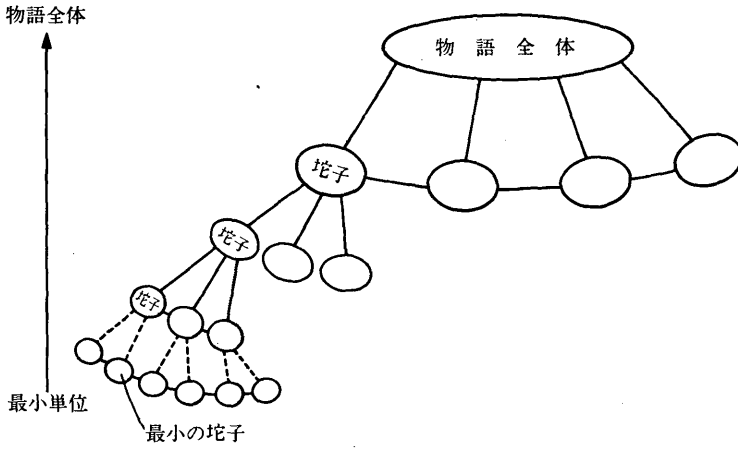


図1 長篇物語の構造

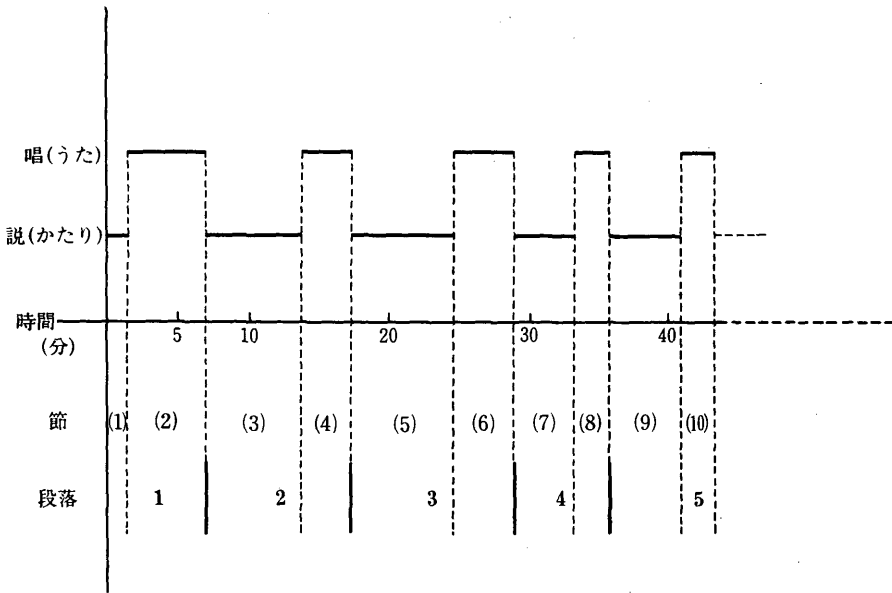


図2 エピソードと表現モードの対応関係  
(表2 『青雲剣』の構成と表現モード』にもとづいて)

馬出場」, 「二將比武」など戦闘描写のための韻文, 「武將」, 「美人」, 「郷官」, 「秀才」といった典型的人物を描写する韻文などがあり, その場その場の物語内容に合わせて既存の多数のストックから選択して挿入するようになっている。これらのストックを多くもつことが藝人の水準の一つの目安ともなっている。一人の藝人がもつ長篇のレ

パートリーは複数あるが、これら「成詞（チェンツー）」とよばれる韻文定型詞は固有名詞や細部を変えるだけで臨機応変にどの書目にも適用できる。したがってこれらの韻文は既存のものであるに関わらず湊水に分類されている。

担い手（藝人）による大書のテキスト分類概念<sup>21)</sup>

大書＝蔓子活（つるのようにきりがなく伸びていく長篇もの）

大書	{	死詞（既存の固定したテキスト）
	}	湊水（演唱のなかで即興的につむぎだされるテキスト）
湊水	{	韻文の成詞（ひとまとまり）——套，贊，賦（文言）
	}	梁子，襷子をもとに即興的につむぎだされるテキスト（口語）

このような分類概念について藝人に説明を求めた際に、補足的に述べられた説明をまとめると次の3点になる。

- 1) 死詞とは刊本、抄本など文字テキストの有無にかかわらない。文字テキストが伝承されなくても死詞とよばれる固定したテキストは存在する。
- 2) 死詞も湊水もテキストの長さは不定である。例えば、一つの演目が全体として湊水であり、そのなかの一部が死詞という場合もある。
- 3) 湊水もある演目のなかで固定して用いられるようになれば死詞に転化することがある。

死詞の定義にくらべると湊水の定義づけは明確さを欠くようにおもわれる。というのも、上記のように、湊水という用語は二つの相異なる意味で用いられるからである。まずひとつには、数行から数十行の長さの韻文である「成詞」を指す場合である。これについては、「湊水とは既存のテキストにもとづくものでない。が、多種多様の固定した詞（成詞）を掌握することが必須であり、その意味において、完全に個人のものといいきれない。」と濼南の趙恩潮氏が説明するように、成詞という既存のものが演唱の場で即興的に選択され、その自在性ゆえに湊水と称されるわけである。しかしその選択が固定的におこなわれるようになると、その部分は湊水ではなく死詞になる、という。つまり、扱われ方しだいでテキストの帰属が変わるのである。さらに、湊水にはもうひとつの意味がある。それは、固定した筋にもとづきながらも自在に語られたテキストであり、その場合、全ての発話されたテキスト（「整個書（チェンジャー）」とよぶ）をひっくるめて湊水という言い方をすることがある。例えば、一

夜の上演が全て洵水であったとか、この書目は洵水であると藝人がのべた場合である。そのような洵水には、当然さまざまなことばの余剰部分（繰り返し、語気詞など）も含まれることになる。余剰部分のなかでも藝人の口癖のようにになっていることばは口頭令、廃語（無駄話）などといって批判の対象となる。成詞は語り手である藝人がつくりだしたものではなく、既存のものである。整個書は藝人自身のことばである。それにもかかわらず、両者がともに洵水とよばれるのは、上演の場において語り手によって語られる瞬間に「テキスト」として確定する点による。

### 3 パフォーマンスのなかで生成されるテキスト

#### 3.1 書詞『青雲劍』の成立過程

以上のような担い手による大書についての説明を参照しながら、実際、現地で語られている大書を取りあげ、テキストのなかでそのまま「伝えられる部分」と演唱者によって新たに「つむぎだされる部分」を明らかにすることによって、大書のテキストの生成のプロセスを探っていきたい。

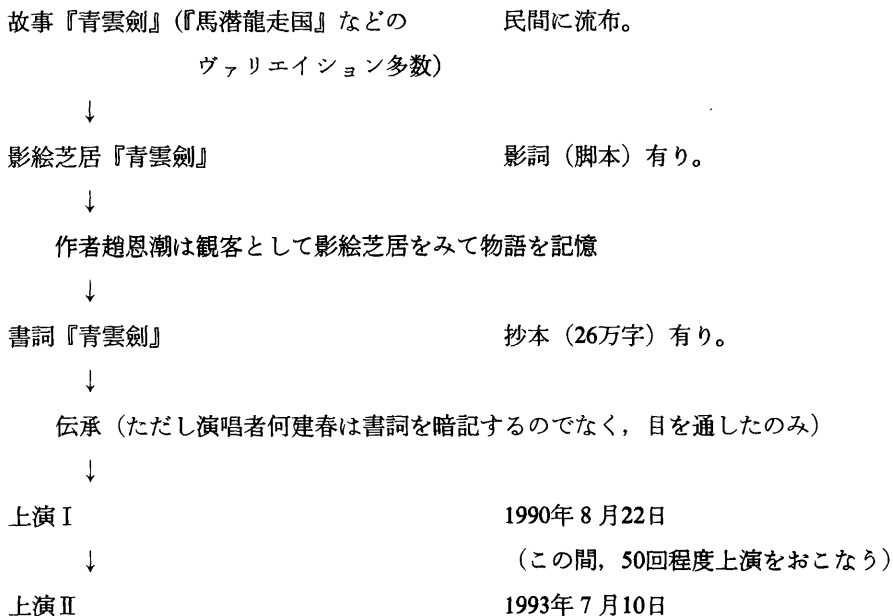
事例としてとりあげるのは、現役の藝人兼作家、趙恩潮氏が書き下ろした大書『青雲劍（チンユンジェン）』<sup>22</sup>とその実際の上演テキストである。この『青雲劍』は、一般的に書き記されたテキストをもたない大書のなかでは例外的ともいえるものである。しかし、伝承や上演というプロセスを経て、テキストの何が変わり、何が不変かを明らかにするためには、このような書き記されたテキスト、すなわち規範的なテキストと、それにもとづきながらも演唱のなかで新たにつむぎだされるものとを比較することが方法として妥当性をもつと考えられる。このような書詞をもたない場合、複数の上演テキストを比較しようとしても、何が規範である（と考えられている）のかを決定することはむずかしい。藝人の記憶のなかにもみ存在する規範的テキストとそれ以外の部分とを識別することが必要となるからである。

『青雲劍』はたしかに、趙恩潮氏という現役の藝人によって書き下ろされた作品としてあった。しかし、これは、いわゆる創作作品とはまったく異なる性質のものである。つまり、もともと『青雲劍』という物語は、はるか以前より民衆の間に広まっていたのである（主人公の名をとった『馬潜龍走国』という故事もヴァリエーションの一つである）。晋帝とその臣下、王敦という実在の人物を中心とする史実を敷衍した虚構の物語は多くのヴァリエーションを生みながらさまざまな芸能ジャンルにおいて



上演されていた。そのなかのひとつを趙氏は影絵芝居「樂亭影戯（ラオティンインシー）」の上演を通じて知った。影絵芝居には影詞という脚本が必ず用いられるが、彼はそれをみたわけではなく、観客としてみた上演の記憶をたどりながら、巡業の合間に3ヶ月をかけて約26万字の書き下ろし作品を生みだした。その作品は原稿用紙に一字一字丁寧に刻まれ、綴じられた。この抄本はすぐに彼のパートナーである演唱者、何建春氏に手渡され、何氏はそれを読み、演唱した。その後も何度も演唱は繰り返されている。この抄本はそれ自体演唱用のテキストとして書き記されており、そのまま改編せずとも上演することも可能であるが、何氏は大書を語るときの慣習にしがたって、それを暗記するのではなく、いったん目を通したのち、自分自身のことばで演唱した。したがってこの何氏による演唱は、趙氏によると「書詞にくらべると水準の低いもの、つまり書詞を口語化してしまった」、そして「一部の例外はあるが、全体的には洵水である」と評されている。

『青雲劍』の伝承



ここで分析の対象となるのは、書詞『青雲劍』の段階以降である。まず、書詞『青雲劍』であるが、体裁としては、この本をもとに即、演唱できるよう、語りとうたが交替される演唱様式にあわせて構成されている。語られるべき散文とうたわれるべき

韻文はほぼ規則正しく交替される。韻文の部分は七言を主としながら、それ以下、あるいはそれ以上の句も少なくないが、できるだけ押韻するように工夫されている（資料1 書詞—317～347行）。作者によると、最も苦心したのが唱の部分をついに整合した韻文とするかであったという。大鼓類に共通する伝統的な押韻の技法（十三道大轆<sup>23</sup>）などをまもることは大鼓作者たちの最大の関心事のひとつである。

何氏はこの抄本に何度か目を通したものの、それを暗記しようとはせず、ある程度頭に入れたのち、上演に臨んだ。1990年と1993年の現地調査の際に、灤南県の村（それぞれ、司各荘鎮と相各荘鎮貝口村）のなかで上演された『青雲劍』を録音することができた<sup>24</sup>。その録音テープから一部を抜粋して採詞し、これら3種のテキストを比較してみたい。

### 3.2 書詞と上演テキストの比較

資料1は、趙恩潮氏が書き記した「書詞」と、上演ⅠとⅡのテキスト（1990年と1993年におこなわれた2回の上演の録音を採詞したもの）の3種のテキストを併記したものである。上演ⅠとⅡには漢字（簡体字）の下にローマ字・拼音で発音を表記している<sup>25</sup>。テキスト相互の対照を容易にするために、対応する部分の行数をできるだけ一致させるようにしている。相互に完全一致する語句については下線で明示している。この3種のテキストを比較するための対照表が表2である。表2では、実際の上演において唱（うた）と説（語り）の交替によって区切られるエピソード（坨子）の単位を「節」と名づけ、各節に番号をつけている。さらに、いくつかの節が連結してもう一つ上位レベルの坨子を形成しているとみなされる場合、それを当論では「段落」と名づけている。書詞のエピソードの概要と表現モードの交替をもとにして、上演Ⅰと上演Ⅱが対応部分にどのような表現モードを用い、演唱時間を費やしているかがわかるようになっている。

いうまでもなく、これらのテキストは『青雲劍』全体のごく一部をあつかったものである。大書についてすでに2.2でのべたように、『青雲劍』も他の大書と同様に、坨子というエピソードの大小の単位が連結することによって形成されている。したがって、そのなかのどの部分をとってみても、場面や登場人物という物語内容が変化するだけで、坨子の連結という構造においては等質のものとみなせる。『青雲劍』のストーリーの大部分が、主人公である太子が国を追われ、諸国をめぐる苦難の旅をするという内容であり、抜粋部分もその旅のある地点でのエピソードである。（他の部分を抜粋したとしても、舞台となる地点や登場人物が変化するだけでエピソードの内容は大

表2 『青雲劍』(3種のテキスト)の構成と表現モード

上演Ⅰ: 1990年8月22日 河北省灤南県司各荘鎮 何建春演唱, 趙恩潮伴奏

上演Ⅱ: 1993年7月10日 河北省灤南県相各荘鎮貝口村 何建春演唱, 馬国旺伴奏

説: 語り 唱: うた

段落*	節*	書詞(約5000字)	表現モード	上演Ⅰ(時間)	上演Ⅱ(時間)
		⋮ ⋮ ⋮ (晋国の国母, 王月英と太子, 馬潜龍が) 臣下, 許江と王鳳にたすけられる)			
1	(1)	太子, 国母とはぐれ馬に乗り流浪の旅へ	説	説 00' 00" 1' 35"	説 00' 00" 1' 23"
	(2)	太子の心中独白	唱	唱 6' 53"	唱 6' 43"
2	(3)	常州府無錫県西安村へ	説	説	説
		財主歩俵, 太子を罵る 歩俵のいかり	唱 説		
	(4)	歩俵, 太子を追い回す	唱	唱 13' 40" 17' 40"	唱 13' 47" 17' 14"
3	(5)	邢賛, 太子をたすける	説	説 24' 15"	説 24' 22"
	(6)	邢賛の家に移動	唱	唱 27' 50"	唱 28' 43"
4	(7)	一年が過ぎ邢賛の祖母の死	説	説	説
		太子の嘆き 棺が必要になる	唱 説		
	(8)	李義とともに陶栄邸へ移動	唱	唱 33' 19" 35' 58"	唱 33' 13" 35' 57"
5	(9)	陶栄邸に到着, 棺代のために使用人になる	説	説 41' 56"	説 40' 33"
				唱 笑い話 説 唱 49' 36"	
	(10)	陶麗春の形容	唱	唱 52' 21"	唱 43' 09"
		(麗春と太子が出会う, 太子の形容) ⋮ ⋮ ⋮			

\*段落: いくつかの節がまとまって, さらに大きなエピソード(坨子)を形成したもの。

\*節: エピソード(坨子)のある単位。上演における表現モード(説と唱)の交替によって区切られる。

同小異である。)したがって、ここでとりあげる部分は『青雲剣』の典型的な一部分であると考えてよいであろう。(実際の採詞は資料1の数倍におよんでいるが、抜粋部分は他の部分と比較してテキストの性質上なら特殊性を有していない。) もう一つ、上演テキストの文字化にともなる問題がある。資料1の上演テキストとは、発話された「音」を文字におきかえたものであるために、文字化する際には発話のスピードや間、発声の如何など、「いかに語りうたわれたか」という側面<sup>26)</sup>がぬけ落ちてしまっている。しかし、ここでおこなう比較とは言語テキストそれ自体の比較が目的であるため、対象もそれに限定することとする。

3種のテキストをみてみると、まず気がつくのが上演の2種のテキストがきわめて差異が小さく、それに比べて、書詞と上演のあいだにテキスト間の差異が大きいということである。書詞と上演テキスト2種を、以下のように「物語内容」と「テキストの語句レベル」に分けて比較してみたい。

物語内容については、エピソードのひとつの単位としての坨子、なかでも上演における表現モードの交替によって区切られる一まとまり「節」を基準単位としてみていきたい。(節は最小の坨子とは限らず、節がさらにいくつかの坨子に分けられる場合もありうる。) まず、書詞のある部分については、上演で独立した節をなす簡略化されることがある。表2にあるように、節(3)の「財主歩俵、太子を罵る」の部分と節(7)の「太子の嘆き」の部分は書詞では独立した唱であるが、上演ではその部分の内容をのこしつつ、その前後の語りに吸収されている。したがって、このことは物語の筋上においてはなんら影響をあたえるものではない。逆に上演で付加される部分としては、筋から逸脱した「笑い話」がある。この笑い話は長さとしては一節くらいに匹敵する。この種の笑い話は前後の物語内容とは関係なく、上演の機会や聴衆の反応といった上演のその時、その場をささえる状況によって出現するものである。上演Iでは実際にその夜停電していたために、語りの冒頭で停電を題材にした笑い話<sup>27)</sup>が出されていたし、そのあとに出された2つ目の笑い話(資料1 239~307行)は場内が騒々しくなってきたために雰囲気を一変させようとして出されたものと思われる。これは本題の『青雲剣』とは何の関わりもない内容であり、しかも、本題では陶麗春という佳人が登場したところをいきなり中断して、食い意地のはった老婆や大便をたれる子どもの登場する笑い話を挿入し、また再び佳人とその女中が避暑亭におもむくという本題に戻っていく。

次に、テキストの語句レベルであるが、語句レベルでの両者の同一性はとぼしく、上演においてはあくまでも演唱者が書詞のなかの物語の筋をもとに、自らのことばで

テキストを再編していることがわかる。物語の筋、内容はかえずに、しかし、書詞の文言を平易な口語になおし、間接語法を直接語法に変えるなど、書詞はほとんど原型のまま用いられることはない。分量的にも書詞に比べて上演テキストが大幅に膨らんでいるのは、登場人物のセリフ（独白や対話）が豊富にもりこまれ、叙述が生々しいまでに具体的になされるためである。典型的な例をひとつ挙げるならば、太子が十両の銀子をもって家に帰り、祖母の葬儀をおこなうくだりは、書詞では「葬祖母」のわずか3文字で叙述されるのみであるが（資料1 書詞—208行）、上演ⅠとⅡでは近所の人々に手伝わせ、墓地までいき、埋葬し、病気の刑贅のことを近所の人にとのみ、と細かく具体的に描写される（資料1 上演Ⅰ、Ⅱ—211～215行）。この傾向とは反対に、書詞のなかの基幹的な、重要な語句については、それが文言であってもそのまま口演される場合もある。例えば、「救命之恩、尚且未報、又蒙收留」（資料1 20行）の部分である。しかし、このようなことは聴衆にことばの意味が伝わりにくいいため避けられるのが常である。そのため、いったん出された文言をわかりやすく口語でいいなおすこともある。例えば、書詞で「瘟疫流行」とあるのが上演ⅠとⅡでは「瘟疫流行、就是一种傳染病」となっている（資料1 書詞—37行 上演Ⅰ、Ⅱ—35～36行）。また、上演テキストには、発話テキストに不可避な繰り返し、驚きや感嘆、呼びかけなどの語気詞の多用や象声詞（擬音語、擬態語などのオノマトペ）がみとめられる。例えば、人が歩いていく情景を「deng deng deng（タンタンタン）」という象声詞で表現するなどである（資料1 上演Ⅰ、Ⅱ—154行、上演Ⅱ—169行）。上演テキストのなかでも、とくに登場人物のセリフ部分は人々の日常会話の調子そのままもちこまれている。さらに、録音テープからききとれる特徴として、主人公の名前がある。書詞では「太子」と記されているが、上演では常に「太子馬潜龍（タイズ・マーチェンロン）」とフルネームで抑揚をつけてはっきりと発音し、強調して繰り返される。あたかもきき手の注意を喚起するためのキー・ワードのようである。また、きき手の注意をひく手段としてまれに語りの合間に、鼓（クー）や醒木（シンムー：机の表面をうつ四角の木片）が打たれる場合もある（資料1 上演Ⅱ—1行、上演Ⅰ—149行、上演Ⅱ—210行）。

このように、上演テキストは書詞を忠実に再現したものではない。それに対して、両者が一致している部分を探し出してみると唯一、書詞どおりに口演されるのが節（10）の「陶麗春の形容」の部分である。この部分は書詞に記された韻文が一言半句変えられることなく演唱されている（資料1 上演Ⅰ、Ⅱ—317～347行）。抜粋部分には含まれていないが、のちにうたわれる太子を形容する韻文もやはり、書詞と上演

テキストが完全に一致している。

次に3年を隔てて録音された二つの上演を比較してみたい。この二つの上演は同一演唱者によるものであるが、上演をとりまく諸条件はかなり異なっていた。90年におこなわれた上演Ⅰは村の要請によっておこなわれた公的な性質のものであるが、93年の方は個人の長寿の祝いにおこなわれた「還願（ホアソユアン）」<sup>28)</sup>という私的な性質のものである。したがって、上演の場所も前者は司各荘鎮という鎮の中心（とはいっても数軒の商店が軒を連ねるのみ）の道ばたであったのに対し、後者は個人宅の門前であった（写真2、3）。演唱の雰囲気は上演Ⅰの方が時間的な制約もなくゆったりと、時には休憩をはさんでおこなわれたのに対し、上演Ⅱでは、淡々と効率よく語られていた。

二つの上演テキストについては、テキストの語句レベルでの同一性はかなり高いといえる。資料1をみても明らかなように、細かな言い回し、口吻は変化しても基本となる語句は不変であることが多い。これは、上演Ⅰから上演Ⅱまでの3年間という時間経過や、上演をとりまく条件の違い、そして上演Ⅰのテキストが記録（文字化）されておらず、それを書詞をみるように反復したりできないことを考えると、ここにみられるようなテキストの固定度は筆者の予想をはるかにこえるものであった。二つのテキストがこのように近似のものであることから、いったん口頭で改編されるとその口頭テキストはかなり固定度の高いものになることがうかがえる。資料1では一箇所、

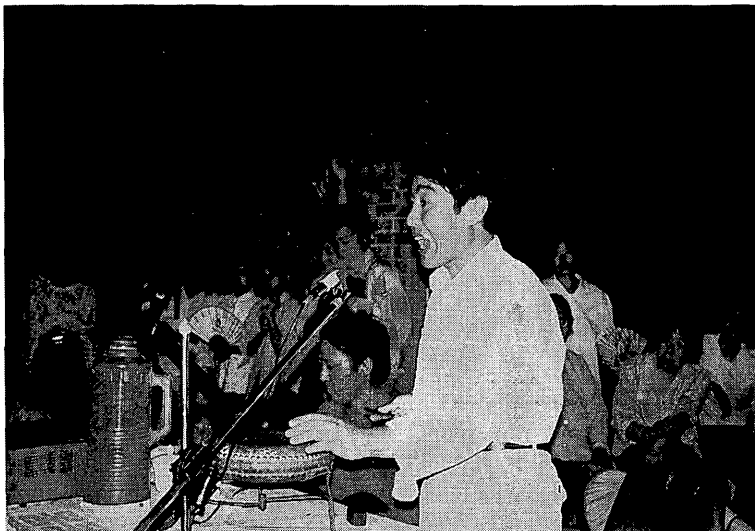


写真2 濰南県相各荘鎮貝口村の農家門前にて『青雲劍』を演唱する何建春（1993年7月10日）

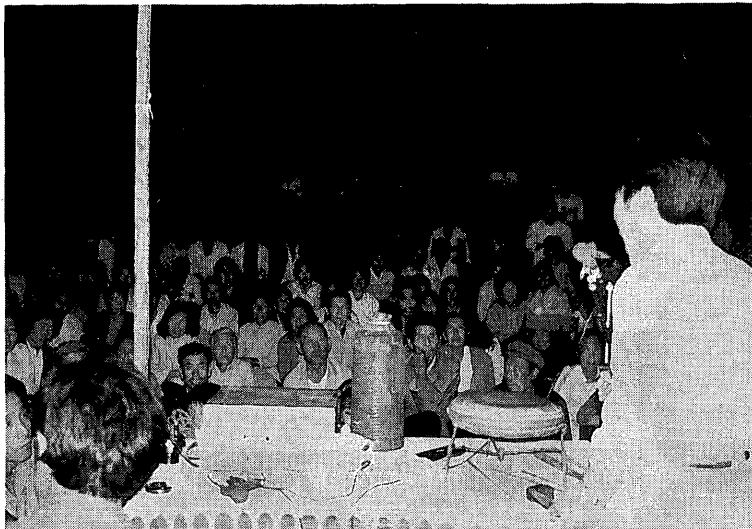


写真3 『青雲剣』を聴く村人(1993年7月10日)

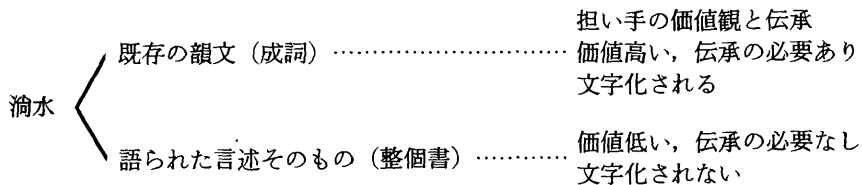
上演Ⅰのテキストのひとかたまり(155~162行)がⅡでは別の場所(217~222行)に移動しているが、テキストそのものはほとんど異同がない。さらに、二つの上演テキストのなかで完全にテキスト間に異同がないのが、やはり書詞との比較と同様に、「陶麗春の形容」の韻文であった。反対に、上演どうしのあいだにある差異についてであるが、物語の筋はかわらず、また、坨子のレベルでの省略や付加もみられなかった。しかし、物語から逸脱する笑話については、上演Ⅰの笑話は再びとりあげられることはなく、(抜粋部分には入っていないが、)上演Ⅱではまた別の笑話が新たに挿入された。したがって、笑話が伝承されるべきテキストの範疇に入っていない、伝えられるべき物語からの逸脱部分であることが確認される。

### 3.3 伝えられるものと新たに生みだされるもの

このように、長篇テキストを書詞—上演—再演というプロセスを通してしてみると、何が伝えられ、何が上演のなかで新たに生みだされるのかが明らかになってくる。このプロセスのなかで、不変であったものは、まず「物語の筋」であり、語句のレベルでは「人物形容の韻文」であった。この筋については、趙氏自身が備忘のため書きつけた『青雲剣』故事的梗概(『青雲剣』故事の梗概)と題されたノート<sup>29)</sup>が存在するため、趙氏の考えていた筋がどのようなものであったかがわかる。例えば、節(7)の前半(1~35行)に該当する筋はこのノートによるとわずか51文字である(資料2)。

しかし、書詞も上演テキストもこの51文字の内容からはみだす部分はなく、あくまでもこの51文字の梁子（筋）をもとに具体的に臨場感をもって肉付けされたものであるといえる。逆に書詞や上演テキストにあって筋として書き出されていないものとして、「うたわれる韻文」がある。とくにそのなかでも、先の人物形容の韻文は筋の梗概ノートにはない。ではこの韻文は書詞の段階で作者によって創作されたのだろうか。この点について参照できる資料として、趙氏の手書きノート（「雑記本」と題されている）がある。この手書きノートには洵水としてつかわれる韻文が多く記されている。人物形容に関する「〇〇贊」の類も含まれ、佳人を形容する贊のなかには「陶麗春の形容」に用いられた韻文と類似の語句が見いだせる<sup>30</sup>。このようにストックされた韻文は、自らが考えたものでなくさまざまな機会（他の藝人の演唱をこっそりきくなど）に苦勞して取り入れたものであるという。そして、もともとは臨機応変に洵水として用いられる性質のものであるが、『青雲劍』の場合は書詞の段階で特定の人物に用いられたため、上演においても書詞通りに演唱されている。つまり固定したテキスト「死詞」に転化したのである。

趙氏の洵水のノートをみていくと、ところどころに漢字のよみが書き添えてあったり、ことばの意味の説明が記されたりしている。そこから察すると、おそらく、趙氏にとってこの洵水（韻文）は、伝承したもののその時点では完全には理解できていない「ことば」も含まれていたと考えられる。否、だからこそ、洵水（韻文）はノートに記すなどして、記憶され伝承されるのであろう。つまり、洵水（韻文）は自分自身のことばではなく、それゆえに貴重で、伝承され記憶されるのである。もうひとつの洵水の意味、すなわち、筋をもとに自在につむぎだされる口語のテキストは、明らかに「自分自身のことば」以外の何物でもない。



以上のように、物語の筋と洵水のなかの成詞（韻文）が「伝えられるもの」とするならば、上演のなかで新たに「生みだされるもの」とはなんであったのだろうか。それは、やはり、洵水のもう一つの意味である「整個書」であろう。たとえ結果的には上演ⅠとⅡのテキストのようにかなり固定度の高いものであっても、暗記され再現さ



れるのでない、一回、一回の上演のたびに、再構築される口語のディスクールこそが純粹な口頭の所産であると考えられる。しかしながら、その「整備書」すらも繰り返し上演されるなかで固定化しつつあったことを考えると、滝水というものが、「死詞と対極にあり、固定されない自由な、即興的な編詞」と定義されつつも、何かの拍子に死詞に転位してしまう可能性を常にはらんでいることに気づかざるを得ない。「久湊成詞」（久しく滝水をつづけていけば固定した詞になる）という藝人用語はまさにそのことをいっているのであった。

## おわりに

さて、前章では『青雲剣』という物語を一例として、長篇物語のテキストがどのような伝承のプロセスを経て、最終的に上演の場でうたい語られるのかを明らかにした。この事例においては、作者によって書き記された書詞が存在したわけであるが、その書詞は上演の場でそのまま再現されることはなく、演唱者によって「改編」された。つまり、藝人は、書詞という文字テキストを目前にしても、それを全面的に暗唱するのではなく、そこから物語の筋、内容だけを吸収し、実際の上演の場で新たに自身のことば（主として口語）でテキストを再編した。このような藝人の営みは、農村における大書のテキスト生成の特徴といえる。

そこで、『青雲剣』をめぐる一連のプロセスからひきだされたテキストの伝承と生成のありようをもとに、ふたたび、1でのべた「鼓詞」の伝承についての問題を考えてみたい。清末から民国時代にかけて出版され、農村にも伝播した鼓詞が今日まで伝承されてこなかったのにはさまざまな外的要因があるだろうが、伝承のあり方に限定して考えてみると次のように理解できる。『青雲剣』でみてきたように、たとえ演出本の形態をとった文字テキストが存在しても、それをそのまま上演の場で再現することはせず、藝人自身のことばでテキストを改編することが伝統的な藝人の営為であったとしよう。その場合、藝人がたとえ鼓詞を目前にしたとしても、そのテキストを暗唱したり、写したり、大切に保存するということの必要性は希薄だったであろう。それゆえに、鼓詞はあれほどまで盛んに都市で出版され、当地にまで伝播したにも関わらず跡形もなく消えてしまったのではないだろうか。文化大革命（1966～1976）のような徹底した伝統文化の否定にあっても、農村で演じられる書目自体はその前後で変化しなかった。解放（1949）後、さかんに創作された「新書目」には、共産党の政策宣伝を目的とした書目や、現代の生活から題材を得た書目が含まれていたが、それら

は一時的に流行してもすぐに忘れ去られていった。結局、今日語りうたわれているのは、あの「鼓詞」のなかに見いだされた伝統的書目なのである。しかし、現在演唱されている大書には鼓詞などの伝承の片鱗すらみられないのである。

このような農村の状況には、口承文芸と文字との関わりにおいてしばしば指摘されてきたような、文字の口承に比するところの圧倒的な優位性や書承の堅固性といったものは見だし得ない。鼓詞＝文字文化は農村においては口承文化のなかにあたかも溶解していったかのようである。『青雲劍』の場合、この、担い手は洵水といいつつも、すでに「固定化」がみられる上演テキストが何かの拍子に書き留められ、あたらしく鼓詞となりかわることも十分考えられる。しかし、それはこれまでの鼓詞の場合と同様に、規範的テキストとしてそのまま演唱されることは決してないであろう。口承、口頭創作の伝統のなかでは鼓詞のような文字テキストの方が（存在としての固定性、永続性に反して）一時的な、かりそめのものといえるのである。

## 謝 辞

当論の基礎となった国内および中華人民共和国での調査、研究の実施にあたっては、1992年度前期松下国際財団研究助成、および平成5、6年度文部省科学研究費補助金（特別研究員奨励費）研究課題名「中国北方農村における口承物語の伝承と創作に関する研究」（研究代表者佐々木淳子）の交付を受けた。

1993年4月～1995年3月にかけては国立民族学博物館、1993年5月から1994年2月にかけては北京市の中国藝術研究院音楽研究所、1994年度には東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所にそれぞれ外来研究員（指導教官、周達生教授）、訪問学者（指導教官、樂桂娟研究員）、公募共同研究員（指導教官、川田順造教授）として受け入れていただき、本稿に関わる指導をいただいた。

本稿の作成にあたっては、草稿に対して藤田隆則氏（京都大学人文科学研究所）よりコメントをいただいた。また、『国立民族学博物館研究報告』編集委員諸氏ならびに同博物館の塚田誠之氏、庄司博史氏より多くの助言と意見をいただいた。

灤南、樂亭両県の樂亭大鼓の担い手を代表して、趙恩潮氏には『青雲劍』の作者として、かつ一藝人として、貴重な情報と資料を提供していただいた。

以上、記して謝意を表します。

## 注

- 1) 中国語の主要術語には初出の際にカタカナで語音を付し、それらの漢字表記は原則として、簡体字が日本の当用漢字と等しくないものについては繁体字を用いた。なお、樂亭は標準音では *leting*、ローティンであるが、現地では *laoting*、ラオティンと発音されている。
- 2) 国家统计局人口統計司編『中国人口統計年鑑1991』の1990年実施の統計によると河北省の

- 15歳以上の人口のなかで文盲、半文盲（全く字をしらない、あるいは知っている文字のたいへん少ない人）の占める率は22.24%となっている。解放時（1949年）にすでに学童期を過ぎていた人、つまり、現在60歳以上の文盲率はこの数字よりはるかに高くなる。
- 3) 「語りもの」とは中国語で説唱（シュオチャン）、あるいは曲藝（チュエイイー）と総称され、物語テキストを説（かた）り、唱（うた）う音楽・芸能ジャンルである。中国の農村地域における語りもの隆盛は藝人の数からもうかがうことができる。例えば河北省全体の語りもの（全28曲種）の藝人数が職業、半職業を合わせて4896名（河北省文学藝術界聯合会が1980年に実施した調査結果による）。樂亭県では專業63名、半農半藝およそ20名、業余（アマチュア）250-300名である（1986年に筆者がおこなったきざり調査より）。
  - 4) 樂亭大鼓とは、鼓と鉄片を打ちながら演唱する語り手と、大三弦（大型の三味線）を奏する伴奏者の2名一組で通常上演される。上演はまず、鼓套とよばれる楽器の即興演奏にはじまり、つづいて短い「小段」がうたわれ、そのあとにうたと語りからなる長篇もの「大書」が演唱される。演奏形態或使用楽器、うたの旋律構造など音楽的側面についての概説はすでに拙稿、井口 [1989] でおこなっているのが省略する。
  - 5) 「大鼓」とは鼓を奏しながら演唱する語りものジャンルで、北方には地方毎に数多くの曲種が存在する。河北省文聯の調査（1980年）によると河北省で大鼓の名がつく曲種は「西河大鼓」、「樂亭大鼓」、「木板大鼓」、「京東大鼓」、「梨花大鼓」、「東北大鼓」、「凌河大鼓」、「唐山大鼓」の8種である。
  - 6) 灤南県、樂亭県はともに河北省の東部、唐山地区に属する。隣接する両県の文化的一帯性は比較的強い。面積、人口は灤南県が1270 km<sup>2</sup>、54万人、樂亭県が1308 km<sup>2</sup>、46万人である。
  - 7) このようにテキストが生みだされる、すなわち口頭的な編詞がおこなわれる場合の「口頭性」とはどのような特徴をもつものなのだろうか。それについて考える際にまず、対比的に浮かび上がってくるのは、文字テキストを用いて、それを暗記し、忠実に再現するような上演のあり方である。しかし、文字テキストを用いても、演唱毎にテキストが大きく変化することを許容するジャンルは存在するし、逆に、文字テキストとの直接的関わりがない伝承や演唱であっても、テキストは常に完全に暗記され、正しく再生される場合がある。したがって、文字テキストが介在するか否かよりも、規範的な、固定的なテキストをもつ場合とそうでない場合という分け方が、ここでいう「口頭性」に深く関与してくるのである。つまり、口頭で伝えられる、口演されるといったテキストの伝達モードとしての口頭性からさらにほりさげて、そのような口頭による伝達や演唱の結果生成されるテキストについて、何が上演のなかで、語り手によって新たに生みだされるのかという点を「口頭性」の本質的問題と筆者はとらえている。
  - 8) これは、R. Finnegan が「オーラル・コンポジション」（口頭的構成法）の定義としてあげる“composition in performance”にあてはまると考えられる。オーラル・コンポジションという語は、元来、M. Parry と A. Lord を中心とする一派においては「韻律的な規模をもち、定型化した語の一まとまりからなるフォーミュラによる構成」を指していたが、Finnegan は、より広い範囲の事例研究をもとに、オーラル・コンポジションの意味を拡大して用いている [FINNegan 1977, 1981, 1992; LORD 1965, 1986]。
  - 9) 「口頭創作」ということばは「書面文学（シューミエンウェンシュエ：書記化された形態の文学作品）」の対義語として中国では広く用いられている用語である。（人民共和国成立後、民間文学を「人民口頭創作」と称していた時期もあった。その最たるものとして、文字とは無関係に成立する民謡や諺があげられる。）民間文学研究者である段宝林によると、曲藝（チュエイイー：語りもの総称）とは「人々の口頭創作と作家の書面文学の間の中間芸術」であり、「藝人の上演過程は改編創作の過程でもあり、この種の創作過程は一回で完成するものでなく長期の上演を通して絶え間なく手を加え完全になっていくものである。この種の創作方式はその全過程からみて、口頭性と書面性の結合ともいえるし、また口頭創作を主としたものともいえる」[段 1989: 48-49] という。
  - 10) 従来、中国においては、語りものに対するアプローチには大きく分けて二つあり、ひとつは文学史、文学研究のなかの講唱文学をあつかったもの、もうひとつは語りもの音楽的側面を主な対象とする曲藝研究であった。しかし、この両者はともに農村という現地に立脚した視点を十分に有しているとはいいがたかった。その端的な例が大鼓における長篇もの「大書」に対する関心の薄さである。参考文献に挙げた劉・李 [1932]、趙 [1936, 1957]、傅 [1962] ではいずれも、大鼓のなかの大書の存在にふれていないか、あるいは、大書で大鼓と

は別の「鼓詞」という長篇専門のジャンルに分けて捉えている。しかし実際には、農村の大鼓には小段（シャオトウアン）と大書の2種類があり、短篇テキストにふしをつけてうたう小段は大書の前座といったおもむきが強い。しかし小段は韻文をふしつけてうたうため、変化に富む旋律型（唱腔や曲牌）が音楽分析の対象となり、また小段のテキストは清代に発行された『子弟書（ツーツーシュー）』などが後代まで約400種伝わっており、研究資料にはこと欠かなかった。（それに対して、大書の伝承と創作は口頭的でであり刊本などの文字資料はほとんど存在していない。）さらには京韻大鼓のような都市部の大鼓は小段のみをレパートリーとしていた。これらのことが文学研究や曲藝研究における大鼓に関する記述を小段に偏らせていた理由だともおられる。

- 11) 樂亭、灤南両県における現地調査は1988年6～8月、1990年8月、1993年7月、11月のべ2ヶ月間におこない、補足調査として、1993年5月～94年2月には北京市にて約9ヶ月間、文献収集を中心とした調査をおこなった。
- 12) 農村地域のいわゆる「民衆文化」をめぐる知識にはすくなくとも三つのレベルがあると考えられる。つまり、担い手である藝人や民衆のレベル、県域の文化人や研究者のレベル、都市部の研究者などのレベルである。それぞれのレベルは互いに異なる知識とその体系づけを有する場合がある。当論では地域を灤南、樂亭県に限定した上で、担い手のレベル（口頭情報）と県域のレベル（主に県内出版物や文字資料）に依拠した資料を用いている。
- 13) ここでいう「小説」とは白話長篇小説を指す。その始源は宋代の盛り場、瓦市（瓦子）における説話人の語りにあるとされ、その後、その語りを記録した話本、あるいは演唱テキストを模した擬話本などの文字テキストがもとになって「小説」という文学ジャンルが形成された。小説の典型的なスタイルである「章回小説体」は語りの藝人が一回一回の演唱ごとに独立したエピソードを語るその演唱スタイルを踏襲したものであり、小説が演唱の現場と切り離され、文学ジャンルとして独立した後もこの章回小説体は受け継がれていった。
- 14) 北京に現存する鼓詞については、首都図書館、中国藝術研究院戲劇研究所、北京大学図書館、北京師範大学図書館にて閲覧した。また、日本国内の東京大学東洋文化研究所、早稲田大学中央図書館（風陵文庫）にも若干の鼓詞が所蔵されている。これまでのところ、樂亭大鼓の大書の書目に重なる鼓詞、計37種類を確認している。
- 15) 趙恩潮氏は1941年生まれ。幼少の頃より大鼓、皮影戲、評劇、秧歌に親しみ、中学卒業後は大鼓を李恩科について1年間学習した。その後、1981年から上演活動（主に伴奏）のかたわら書詞を編写し、『青雲劍』のほか3篇の大書と多数の小段を創作している。彼のようないわゆる「農村作家」は県域内で数名活動しており、なかには語りものテキストを専ら創作している大鼓作家もいる。それらの作品は県内外の文藝誌や全国的な雑誌『曲藝』（中国曲藝家協会）に掲載されている。
- 16) ここに挙げた書目は原則として筆者および現地関係者の聞き取り調査によって確認されたものである（これらの書目以外にも現地の資料に記載されている大書が約20篇ある）。表1のなかには物故者の書目もふくまれているため現在では演唱者のいない書目がある。
- 17) 学習方法の一例として次のような情報を得た。  
「早朝と午前中には（小段の）書詞を暗記する。午後と夜にはそれを書き写す。十いくつつかの小段を学んだ後、6場（6夜）の書詞（短めの大書）を書き写す。その後は書詞を書き写すことはなく、筋だけを書き写す」（1993年11月、灤南県の李恩科の教授法をその弟子、趙恩潮が述懐して）。「一般に大鼓を学習する場合、まず、最初に固定したテキストである死詞からはいる。3年から5年経ってひとつの大書の歴史背景、風俗人情が理解できたら、ようやく滴水をはじめることができる。固定した筋の上に自在に内容を添加、削除したり、改めたりしながらも主題は変わらない、それが滴水である」（1990年8月、樂亭県の藝人、張学園の発言）。
- 18) 鼓詞を書承したという例は樂亭大鼓においては未だ見だしていないが、書承もおこなわれていたことを示す報告がある。例えば、灤県の彭振勇（1886年生）は12の中篇ものを演唱できたといい、かれ自身の抄本が現在まで伝わっている【唐山市曲藝志編輯部（編）1989: 54】。西河大鼓の王尊三（1892年生）が師の秘本鼓詞の『隋唐演義』などを上演のない昼間に書き写した【河北省文化庁文化志辦公室 1988: 4】、などである。
- 19) 大書を死詞として伝承、演唱した例はいくつかの資料に見いだせる。例えば齊禎（1849年生）は各12回の『回杯記』と『錯段顔查散』を死詞で語ったとされている【中国曲藝家協会河北分会（編）1981: 19】。また、許真（1873年生）の『施公案』など7つの中篇書は「実

- 詞実口) (死詞と同義) であり、決して淌水ではなかった [唐山市曲藝志編輯部 (編) 1989: 52] と伝えられている。
- 20) 「套」, 「贊」, 「賦」のそれぞれは厳密に使い分けられているわけではない (本来, 套とは「ひとそろい」の意味, 贊はたたえる内容のもの, 賦は詩文といった意味をもつ)。これらの韻文の長さは多種多様である。短いものは断片的な数行の場合もあり, 長いものは数十行におよぶ。また, 韻文だからうたわれるとはかぎらず, 語られる場合もある。
  - 21) このテキスト分類は, 樂亭, 濮南県の藝人たちの説明にもとづいて筆者が再構成したものである。このような大書に関わる用語とその定義は樂亭大鼓のみならず, 他の大鼓類にもある程度共有されている。
  - 22) 『青雲劍』のあらすじは, 晋の昭帝の時代, 奸臣王敦が帝位をさん奪し, 国妃である王月英とその子, 太子馬潜龍が苦難の逃亡生活の末, 国王の仇を討ち, 復国するというものである。王敦をはじめとする歴史上の人物を配した虚構の長篇物語で, 同様の内容をもつ『馬潜龍走国』という小説や鼓詞が存在する。
  - 23) 「十三道大轍」とは広く北方の曲藝に用いられる韻脚で, 「発花轍」は, a, ia, ua の韻母, 「中東轍」なら eng, ing, ueng, ong, iong の韻母というように, 韻母の相同によって13種の押韻の類別をしたものである。
  - 24) 1993年筆者が濮南県を訪問した際, 1990年に録音した『青雲劍』と同じ部分が何建春によって再び上演されているのに出会い, これを収録することができた。録音のおこなわれた90年から93年までの3年間, 何建春は『青雲劍』の上演を継続的におこなっており, 本論にとりあげた部分についてもその上演回数は50回をくだらないという。
  - 25) 資料1からもわかるように, 演唱者, 何建春は樂亭大鼓の藝人としてはめずらしく, 『青雲劍』を樂亭話ではなく, ほぼ標準音で語っている (コンパクト・ディスク [井口 1992] には1990年に録音した何建春演唱の『青雲劍』が収録されている)。これはかれが, 樂亭地方以外の地にも活躍の場を広げたいという考えをもっているためである。
  - 26) こういった言語テキストの音声的側面については, 文字テキストに特別な記号などを付すことによってオーラルな特徴をできるだけ忠実に表記, 視覚化しようとする試みもある [FINNEGAN 1992: 202-210; FINE 1984]。
  - 27) 停電という現実と, それを契機に語られた笑い話については拙論 [井口 1993] にくわしい。
  - 28) 90年から93年にかけての3年間に, 濮南の村むらにも大きな変化がおしよせていた。つまり, 「改革開放」政策下, 村のなかに副業などで大きな富を蓄積するものが出現し, 解放後はほぼ平等であった各戸にも貧富の差が生じていたのである。そこで解放前におこなわれていた個人が藝人を招く「還願」が再びおこなわれるようになったのである。解放後続いてきた, 村の公金をつかい, 村として藝人を招き, 村のなかの共有地 (主として「場院」とよばれる広場) で上演するというやり方はなくなりつつある。
  - 29) 『故事の梗概』は1983年6月の日付がある手書きノートで, B5版で全59頁にのぼる。
  - 30) 淌水のノートには「女」, 「婦人」といった題で十数行の韻文が記されている。陶麗春の形容と完全に一致するものではないが共通の語句を含む「眉掃口弯新月」や「桜桃口浅暈微紅」の句が見いだせる。このような韻文はジャンルや地方をこえて広くしられた使い古された表現であろう。例えば, 河南省の曲藝藝人の口述記録のなかにも美人賦としてよく似た句が見いだせる。「…鮮艶長就芙蓉面, 面賽桃花柳眉弯。弯弯柳眉杏子眼, 眼含秋水鼻懸丹。丹珠一点櫻桃口, 口内銀牙糯米含。…」 [河南省虞城縣文化館編印 1982: 47]。

## 資料1 『青雲劍』3種のテキスト(表2の節(9)～(14)に相当)

- ・「書詞」は趙恩潮氏自筆ノートより該当部分を抜粋。
- ・「上演Ⅰ, Ⅱ」は録音テープより採詞(趙維平, 趙恩潮氏による採詞を筆者が補正)。
- ・漢字は簡体字を用い, 字音は漢語拼音字母による。
- ・字音は録音されたものにできるだけ忠実に表記したが, 聴取, 判別が容易でなく暫定的に選択したものも含まれている。
- ・字音表記はすべてローマ字小文字で統一し, 人名のみ頭文字を大文字で記した。
- ・語りの合間に奏される醒木および鼓の音は記号で, 擬態, 擬音語については漢字を避け■であらわした。
- ・[唱]はうた, [説]は語りをあらわす。
- ・下線ーは, 上演ⅠとⅡのテキストが一致する部分を示し, 下線～は, 書詞と上演テキストが一致する部分を示す。
- ・3種のテキストが相互に対応する部分がない場合(一種のテキストのみの場合)も行数をつけている。

段 節 落	行 数	書詞	上演Ⅰ('90年)	上演Ⅱ('93年)
4	(7)	1 太太闻听连连点头, “看来你的命好苦哇!	[説] 老太太这么一听, 这小孩儿也怪可怜的。 laotaitai zheme yiting, zhexiaohair ye guai kelian de.	[説] 老太太一听啊。也特别同情他。(醒木) laotaitai yiting a, ye tebie tongqing ta.
		2	“唉, 我这么着得了, 说道是马在兴啊, ei, wo zheme zhe dele, shuodao shi Mazaixing a,	“你说就这么个小孩儿到哪去呀? 也是 ni shuo jiu zheme ge xiaohair dao na qu ya? ye shi
		3	那么你既然现在没处去。 name ni jiran xianzai meichuqu.	怪可怜的。这么着吧, 孩子啊, guai keliande, zheme zhe ba, haizi a,
		4 <u>我有一言出口, 不知当讲不当讲?”</u>	<u>我呢, 有一言不知当讲不当讲。”</u> wo ne, you yiyan buzhi dangjiang budang jiang.	<u>我有一言不知当讲不当讲。”</u> wo you yiyan buzhi dangjiang budang jiang.

5	“老人家有话请讲当面。”	“老人家，有话请讲当面。” laorenjia, youhua qing jiang dangmian.	“老人家，您有话就说吧。” laorenjia, nin youhua jiu shuo ba.
6	“老身看你孤苦伶仃，无处投奔，我们家只有	“好吧，这么着，我们家呢，就是我们祖 haoba, zhemezhe, womenjia ne, jiushi women zu	“好吧，我们家啦也没有别人，就是我们 haoba, womenjia la ye meiyou bieren, jiushi women
7	祖孙二人，也很孤单，	孙二人，也没别人，也怪孤单的。 sunerren, ye mei bieren, ye guai gudan de.	祖孙二人。 zusunerren.
8	有意叫你二人结为一拜，	我呢，有心叫你和我的孙子结为一拜， wo ne, you xin jiao ni he wode sunzi jiewei yibai,	我有心呢，叫你跟我孙子结为一拜， wo you xin ne, jiao ni gen wo sunzi jiewei yibai,
9	你就在此存身，	你就住在我们的家中，慢儿慢儿地在寻找 ni jiu zhuzai women de jiazhong, marmardi zai xunzhao	你就住在我们家。 ni jiu zhuzai womenjia.
10		你的母亲。 ni de muqin.	
11		要是找到你的母亲以后呢，也把她接 yaoshi zhaodao ni de muqin yihou ne, ye ba ta jie	
12		到家中，怎么办呢，就一块儿过日子， dao jia zhong, zenme ne, jiu yikuar guo rizi,	
13	不知意下如何？”	你看怎么样？” ni kan zenmeyang?	你看怎么样？” ni kan zenmeyang?
14		太子马潜龙这么一听。那还不愿意吗， taizi Maqianlong zheme yiting, na hai bu yuanyi ma,	太子马潜龙这么一琢磨那还不好吗？ taizi Maqianlong zheme yizhuomo na hai buhao ma?
15		“现在我正没处去呢， xianzai wo zheng mei chu qu ne,	“我找这个地方还找不着呢，这回呀， wo zhao zheige difang hai zhaobuzhao ne, zhe hui ya,
16		我找这么个地方都找不到， wo zhao zheme ge difang dou zhaobudao,	我就暂且住在他家，我应下这个亲事。” wo jiu zanqie zhuzai tajia, wo ying xia zheige qinshi,

17		我还不愿意。”不过嘴上啊，还不能不 wo hai bu yuanyi, buguo zuishang a, hai buneng bu	
18		能那么说，在客套几句，太子马潜龙 neng name shuo, zai ketao jiju, taizi Maqianlong	
19	太子一听忙说，	说道是， shuodao shi,	
20	“救命之恩尚且未报，又蒙收留结为	“哎呀！救命之恩，尚且未报，又蒙 aiya! jiuming zhi en, shangqie weibao, you meng	“欸，老人家，救命之恩，尚且未报， ei, laorenjia, jiuming zhi en, shangqie weibao,
21	兄弟，更是感恩不尽。只是我留下搅	收留，恐怕打搅府上不安，我于心不 shouliu, kongpa dajiao fushang buan, wo yu xin bu	又蒙收留，恐怕打搅府上，我于心不 you meng shouliu, kongpa darao fushang, wo yu xin bu
22	闹府上不安，我心不忍。”太太说	忍。” ren,	忍。” ren,
23	“何出比言。	“哎！你还说这些干什么呢？ ei! ni hai shuo zhexie gan she ne?	“哎！你还说这些干什么呀？ ei! ni hai shuo zhexie gan shenme ya?
24	既然愿意，就不要说别的了。”	你既然愿意呀，那么，你二人赶紧地对 ni jiran yuanyi ya, name, ni erren ganjin de dui	如果愿意的话就别客套啊，你二人就 ruguo yuanyi de hua jiu bie ketao a, ni erren jiu
25	“如此祖母转上受孙儿一拜！”老太太	天盟誓，结为一拜吧。” tian mengshi, jiewei yibai ba,	报个岁数，对天盟誓结为一拜吧！” baoge suishu, dui tian mengshi jiewei yibai ba!
26	满心欢喜，赶紧扶起太子，说，	二人呢，就对天盟誓，结为一拜，经过 erren ne, jiu dui tian mengshi, jiewei yibai, jingguo	当时他俩就叩头啊，拜了兄弟了。经过 dangshi ta lia jiu koutou a, baile xiongdi le. jingguo
27	“快快起来，只是家境贫寒，怕〇尊与	报岁数。他们两个都是十四了。 bao suishu, tamen liangge doushi shisi le,	报岁数呢，俩人都是十四啦。 bao suishu ne, liangren doushi shisi la,
28	你。”“孙儿乃水上浮萍。多蒙雅爱，	不过太子马潜龙呢，生月比这个邢赞大。 buguo taizi Maqianlong ne, shengyue bi zheXingzan da,	不过太子马潜龙啊，比这邢赞生月大。 buguo taizi Maqianlong a, bi zheXingzan shengyue da,



29	留住于此, 说什么贫寒, 我弟兄同作	所以说, 马潜龙为哥哥, 邢赞为弟弟。 suoyi shuo, Maqianlong wei gege, Xingzan wei didi.	所以说, 马潜龙为哥哥, 邢赞为弟弟。 Suoyi shuo, Maqianlong wei gege, Xingzan wei didi.
30	苦活, 可孝敬祖母。”老太太见在兴说	就这样呢, 二人呢, 就拜了○兄弟。 jiu zheyang ne, erren ne, jiu bai le gan xiongdi.	那么从这儿呢, 太子马潜龙啊, 就住在邢赞 name cong zher ne, taizi Maqianlong a, jiu zhuzai Xingzan
31	话温柔典雅又深明大义, 更是欢喜不尽。	结拜兄弟以后, 那么 jiebai xiongdi yihou, name	的家中暂且存身。 de jiazhong zanqie zunshen.
32	二人结拜, 经叙年庚, 都是十四岁, 太子	这哥两个呀, 每天呢, 就上山打柴。这祖 zhe ge liangge ya, meitian ne, jiu shangshan dachai, zhe zu	两个人呢, 每天上山打柴维持生活。 liangge ren ne, meitian shangshan dachai weichi shenghuo.
33	生月比邢赞大, 为兄, 邢为弟,	孙三人是相依为命。 sun sanren shi xiangyi wei ming.	
34	从此, 太子就在此存身。光阴似箭日月如	转眼间呢, 一年过去了。这太子马潜龙 zhuanyanjian ne, yinian guoqu le. zhe taizi Maqianlong	转眼间呢, 马潜龙在邢赞的家中就住了 zhuanyanjian ne, Maqianlong zai Xingzan de jiazhong jiu zhu le
35	梭, 转眼之间一年过去, 这真是天有不测	在邢赞的家中就住了一年多。 zai Xingzan de jiazhong jiu zhu le yinian duo.	一年。 yinian.
36	风云, 人有旦夕祸福, 这无锡县东安村地	那么这一年, 在这东安村儿啊, 是瘟疫 name zhe yinian, zai zhe dongancuer a, shi wenyi	这一年呢, 这个东安村儿呢, 瘟疫流行 zhe yinian ne, zhege dongancuer ne, wenyi liuxing
37	面这年瘟疫流行。人死大半, 邢赞和祖母	流行。就是有一种传染病。这种传染病 liuxing, jushi youyizhong chuanranbing, zhezong chuanranbing	就是一种传染病。 jiushi yizhong chuanran bing.
38	都抱病在床, 老太太经不起疾病的折磨,	特别的厉害, 那个人呢, 死了大半儿。 tebie de lihais, neige ren ne, sile dabar.	结果邢赞和他奶奶就都得了病了。 jieguo Xingzan he ta nainai, jiu dou dele bingle.
39	一病未起离开了人世。	这邢赞和他的奶奶就得了病了。邢赞躺 zhe Xingzan he tade nainai jiu de le bing le, Xingzan tang	重病不起。 zhongbing buqi.
		在床上也是人事不清。这老太太呀, 一 zai chuangshang yeshu renshi buqing, zhe laotaitaiya, yi	这老太太因为上了年岁呀, 一病还就设 zhe laotaitai yinwei shangle niansuiya, yibing haijiu mei

40	太子马潜龙见祖母身亡，兄弟邢赞昏迷	病不起，还就死了。你说怎么办吧。 bing buqi, hai jiu si le. ni shuo zenmebanba.	有起来。嘿嘿，老太太还就死啦。 you qilai, heihei, laotaitai haijiusila.
41	不醒，又难过又着急，哭了一阵。	太子马潜龙一看老奶奶死了， taizi Maqianlong yikan laonainai sile,	老太太这么一死啊，太子马潜龙你说 laotaitai zheme yisi a, taizi Maqianlong nishuo
42		当时扑到老人家的 <u>身上</u> 是放声 dangshi pudao laorenjia de shenshang shi fangsheng	这个难过呀。当时 <u>趴到老人家的身上</u> zheige nanguoya, dangshi padao laorenjia de shenshang
43		大哭啊，这可怎么办。 daku a, zheke zenmeban.	<u>放声痛哭</u> 哇，一个劲儿地哭。 fangsheng tongkuwa, yige jier di ku.
44		是指望 <u>着</u> 祖孙三人，相依为命，苦渡日， shizhiwang zhe zusun sanren, xiangyiweiming, kuduri,	老太太对他那真是特别好啊，如同亲生的 laotaitai dui ta na zhenshi tebie hao a, rutong qinshengde
45		不了想，老奶奶死了。放声大哭。 bu liaoxiang, laonainai si le, fangsheng daku.	一般，这回死啦，你想不想，难过不 yiban, zhehuisila, ni xiangbuxiang, nanguobu
46			难过呀，所以说太子马潜龙一个劲儿地哭， nanguoya, suoyi shuo taizi Maqianlong yigejinger di ku,
47			你说这时候呢， <u>邢赞</u> 还病在床上人事不 nishuo zheshihoune, Xingzan hai bingzai chuangshang renshu bu
48	对前来看望的众位邻居说		
49	“列位邻居，请帮我抬抬祖母尸灵，停在		
50	内寝。”大家说，“好说，隔壁四邻，礼		
51	当帮忙。”大家把老太太的尸体放在		

52	拍子上，放好后，点上照尸灯，太子		
53	跪倒放声大哭，		
54	太子潜龙跪灵床，		
55	悲声惨切把擦揉肠，		
56	前伏后仰哭祖母，		
57	难道说您老人家真就一命亡，		
58	自从我来到咱家下，		
59	您老待我是何等心肠，		
60	视如亲生无两样，		
61	知疼着○胜爹娘，		
62	不料今日辞人世，		
63	怎不叫人痛断肠，		

64	现如今我兄弟也染病在床上,		
65	昏迷不醒气息冰凉,		
66	这可叫我怎么好,		
67	手下无钱怎治丧,		
68	衣裳倒是能将就,		
69	棺木没有更着忙,		
70	想到此间双足踩,		
71	叫地呼天扑在床,		
72	太子哭的如酒醉,		
73	左右邻居也悲伤,		
74	众人跟着流痛泪,		
75	俱都可怜小儿郎,		

76	有人上前忙解劝,		
77	尊声小哥莫悲伤,		
78			清, 什么事也不懂, 这怎么办呢? qing, shenmeshiye budong, zhe zenmebanne?
79	众邻居见太子哭的死去活来, 人人伤心	那么左右邻居的一看, 说道是, name zuoyou linju de yikan, shuodaoshi,	但是呀, 左右邻居那个看热闹的也都替 danshiya, zuoyou linju nage kanrenaode yedouti
80	落泪, 哭罢多时, 有人解劝,		他难过。就劝他说 ta nanguo, jiu quantashuo
81	“小哥且莫过于悲伤,	“马在兴啊, 别哭啦。 Mazaixing a, bie ku la.	“这位小哥呀, 你别哭啦, 你哭也没用, zhewei xiaoge ya, ni bie ku 'la, ni ku ye meiyong,
82	人已死去, 哭也无用,	常言说的好人死, 不能复生。 changyan shuode hao rensi, buneng fusheng.	常言说的好人死, 不能复生, 就是哭 changyan shuo de haoren si, buneng fusheng, jushi ku
83			死你奶奶也活不了, 啊, si ni nainai ye huobuliao, a,
84	六月的天气, 需要早人殓才是正理。”	大热的天儿, 你还是赶紧想办法把你 dare de tianr, ni haishi ganjin xiangbanfa ba ni	大热的天儿, 你还是想办法把你奶奶 dare de tianr, ni haishi xiangbanfa ba ni nainai
85		的老奶奶埋了, 乃为正理呀。”太子马 de laonainai maile, naiwei zhengliya. taizi Ma	早早埋了乃是正理呀。” zaozao maile naishi zhengliya.
86		潜龙说“诸位乡亲们就麻烦你们帮忙。把 qianlongshuo zhuwei xiangqinmen jiu mafan nimen bangmang. ba	劝的太子马潜龙这才不哭啦。不哭了是不 quan de taizi Maqianlong zhe cai bu ku la, buku le shu bu
87		我奶奶的尸体给停上吧。”大家呀, 一 wo nainai de shiti gei tingshang ba. dajia ya, yi	哭了, 家里没钱呢。没钱买棺材, 怎么 ku le, jiali mei qian ne, mei qian mai guanzi, zenme

88		看,也特别可怜这个马在兴。就七手八 kan, ye tebie kelian zhege Mazaixing. jiu qishouba	呀,能把奶奶送到坟里边儿去呀。 ya, neng ba nainai songdao fen libianr qu ya.
89		脚的把老太太给停好了。停好了以后, jiao de ba laotaitai gei tinghao le, tinghao le yihou,	他发了愁啦。 ta fa le chou la.
90		太子马潜龙还是哭。大家也解劝,说是 tazi Maqianlong haishi ku, dajia ye jiequan, shuoshi	
91		“别哭了,还是想办法把你奶奶埋了吧。” bie ku le, haishi xiang banfa ba ni nainai mai le ba.	
92	太子眼含痛泪,说,	马潜龙说 Maqianlong shuo	他眼望大家说 ta yanwang dajia shuo
93	“ <u>众位</u> 邻居,我家境贫苦,无钱买棺木,	“ <u>众位</u> 乡亲们, <u>我们</u> 家中现在是一文钱 zhongwei xiangqinmen, women jia zhong xianzai shu yiwenqian	“ <u>众位</u> 乡亲们, <u>我们</u> 家里一文钱也没有, zhongwei xiangqinmen, women jiali yiwenqian ye meiyou,
94	怎好人殓?求众位帮我出个主意吧!”	也没有,那什么买棺子呢?求求大家, ye meiyou, na shenme mai guanzi ne? qiuqiu dajia,	可怎么办呢?望乞大家给我想个办法 ke zenme ban ne? wangqi dajia gei wo xiang ge banfa
95		你们给我想个办法吧。” nimen gei wo xiang ge banfa ba.	吧。” ba.
96		大家这个一听也是啊,拿什么买棺子呢。 dajia zhe ge yiting ye shi a, na shenme mai guanzi ne.	大家一听可不是啊,没钱怎么买棺子啊, dajia yiting ke bushi a, mei qian zenme mai guanzi a.
97	邻居中有一个叫李义的说了话,	也都发了愁了,其中有这么一个人叫李义。 ye dou fa le chou le, qizhong you zHEME yige ren jiao Liyi.	大家也都发了愁啦,其中有这么一个人呢 dajia ye dou fa le chou la, qizhong you zHEME yige ren ne
98		他倒有一个办法。说道是 ta dao you yige banfa, shuo dao shu	就李义。李义说 jiu Liyi, Liyi shuo
99	“我倒有个主意,只怕你不肯。”	“马在兴,我倒有一个办法,不知你是 Mazaixing, wo dao you yige banfa, buzhi ni shi	“马在兴啊,我倒有一个办法,不知你 Mazaixing a, wo dao you yige banfa, buzhi ni

100		不愿意。” fou yuanyi.	愿意不愿意，” yuanyi bu yuanyi,
101	“若有门路乞一棺木，装殓祖母，	“这位老哥哥，只要能给我的奶奶买上	“这位老哥哥，如果说能够买口棺材把
102	就是赴汤蹈火也愿去！”	一口棺材。就是上刀山下火海我也愿意。”	我奶奶埋了，我就是上刀山下火海，
103		yikou guancai, jiushi shangdaoshanxiahuohai, wo ye yuanyi.	wo nainai mai le, wo jiushi shangdaoshanxiahuohai, 我也愿意，你说吧。”
104	“如此我和你说说， <u>这西村有一陶乡宦，</u>	“那么好吧，我跟你说说。在这个西村儿	“好，是这么回事，在这个西村儿啊，西安
105	常夸你，知你是导乡人，有意雇你做	啊，有一个叫陶荣的。他看见过你。	村儿呢，有这么一个陶荣，这个陶荣他看
106	小活，	a, you yige jiao taorong de, ta kanjianguo ni.	cuer ne, you zhe me yi ge Taorong, zhege Taorong takan
107	今天无钱买棺材，	想雇你呢，给他做小活儿。	见过你。他想雇你给他做小活儿。
108	何不去做小活，	xiang gu ni ne, gei ta zuo xiaohuor.	jian guo ni, ta xiang gu ni gei ta zuo xiaohuor.
109	<u>一年工钱就够了。”</u>	后来打听啊，你是邢赞的结义的哥哥。	后来一打听啊，说你是邢赞的结义哥哥
110		houlai dating a, nishi Xingzande jieyi de gege.	houlai yi dating a, shuo ni shi Xingzande jieyi gege
111		就没好意思的说，我看呢，这回你去	就没好意思说，我看看，你求求他。
		jiu mei haoysi de shuo, wo kan ne, zhehui ni qu	jiu meihaoysi shuo, wokankan, ni qiuqiu ta.
		求求他。你给他干活儿。一年的工钱	你给他干活儿去。干活儿一年的工钱
		qiuqiu ta, ni gei ta ganhuor. yinian de gongqian	ni gei ta ganhuor qu, ganhuor yinian de gongqian
		也够买一口棺材的了。	呢，也就够买口棺材了。
		ye goumai yikou guancai dele.	ne, yejiu goumai kou guanzile.
		你叫他呢，把工钱先给你。	你叫他把工钱先给你。给你以后呢，
		ni jiao ta ne, ba gongqian xian gei ni.	ni jiao ta ba gongqian xian gei ni, gei ni yihou ne,

112		买口棺材, 把你奶奶埋了以后, 然后 mai kou guancai, ba ni nainai mai le yihou, ranhou	你就先买口棺材, 把你奶奶埋了, ni jiu xian mai kou guanzi, ba ni nainai mai le,
113		再给他干活儿。 zai gei ta ganhuor.	埋了以后, 你再给他去干活儿, maile yihou, ni zai geita qu ganhuor,
114		我看呢这样, 可以埋葬你的奶奶。” wo kanne zheyang, keyi maizang ni de nainai.	这样啦, 这个问题我看就解决了。” zheyangla, zheige wenti wokan jiu jie jue le.
115		太子马潜龙这么一听说 taizi Maqianlong zheme yitingshuo	邢赞 <sup>*</sup> 这么一听, 这也行啊。 <sup>※語り手の言い間違い (太子马潜龙が正しい)</sup> Xingzan zheme yiting, zhe ye xing a.
116	“如此甚好, 可我自己怎好去说? 就烦	“好吧, 那么就麻烦这位老哥。你给我 haoba, name jiu mafan zhewei laoge, ni gei wo	“好吧, 这位老哥哥, 就麻烦你给我说 haoba, zhewei lao gege, jiu mafan ni gei wo shuo
117	老哥替我辛苦一趟吧!”	跑一趟, 去给我说服说服吧。” pao yitang, qu gei wo shuofu shuofu ba.	说吧。从中给我搭个桥儿。” shuo ba, congzhong gei wo dage qiaoler.
118	“好, 你也同我去, 在府门外等候, 说	“好, 那么我给你说说去。不过你得跟 hao, name wo gei ni shuoshuo qu, buguo ni dei gen	“好吧, 那我就给你跑一趟, 你跟我一 haoba, na wo jiu gei ni pao yitang, ni gen wo yi
119	妥了再叫你进去, 省得来回跑道。”	我一起去。如果人家又是愿意, 你就 wo yiqi qu, ruguo renjia youshi yuanyi, ni jiu	起去吧, 如果他若是愿意的话, 你就 ququ ba, ruguo ta ruoshi yuanyi de hua, nijiu
120	“如此多谢!”	见见这位陶老爷, 也省得呀, 来回重跑重 jianjian zhewei Tao laoye, ye shengdei ya, laihui zhong pao zhong	见见他, 跟人家说说。” jianjian ta, gen renjia shuoshuo.
121		跑到。”马潜龙说, paodao, Maqianlong shuo,	
122		“好吧, 那么这位老哥哥, 你就头前引 haoba, name zhewei lao gege, ni jiu tou qian yin	
123		路吧。” luba.	



124 125 126	李义这才带太子奔陶府而来。	“好，你跟我走吧。”一旁说着，李义 hao, ni gen wo zouba. yipang shuo zhe, Liyi 头前带路，太子马潜龙跟随在后，直奔 tou qian dai lu, taizi Maqianlong gen sui zaihou, zhiben 西村儿去找陶荣。 xicuer qu zhao Taorong.	“好吧，您就带我去吧。”一边儿说着 haoba, nin jiu dai wo qu ba. yibier shuozhe 这个，他们二人呢，这才直奔西村儿去找陶荣。 zhege, tamen erren ne, zhe cai zhiben xicuer qu zhao Taorong.
(8) 127 128 129 130 131 132 133 134	李义就在头前行， 后跟太子马潜龙， 这太子一行走着心神不定， 自己暗暗打条停， 暗想道不知是怎样一个陶乡宦 又不知能否把我收容， 倘若被陶府收留下， 情愿在那儿做苦工，	〔唱〕 马潜龙跟随李义去找陶荣， Maqianlong gensui zhe Liyi qu zhao Taorong, 你看他一行走着按大仗城， ni kan ta yihang zouzhe an dazhangcheng,  自从我到在那赞的家内， zi cong wo dao zai Xingzan de jiane, i, 老人家对我如同亲身， laorenjia dui wo rutong qinshen,  是指望祖孙三人渡苦日， shi zhiwang zusun sanren du kuri,  不料想我的奶奶一命○， bu liaoxiang wo de nainai yiming kan,	〔唱〕 好一位太子马潜龙， hao yiwei taizi Maqianlong, 跟随李义去找陶荣， gensui zhe Liyi qu zhao Taorong, 马潜龙一边走着心中难过， Maqianlong yibian zouzhe xinzhong nanguo, 连把老奶奶叫了几声， lianba lao nainai jiao liao jisheng,  自从我到在那的家内， zi cong wo dao zai nin de jiane, i, 老人家对我如同亲生一般同， laorenjia dui wo rutong qinsheng yiban tong,  不料想老奶奶下世去， bu liaoxiang lao nainai xiashiqu,

135	赚得银钱葬祖母,	家中无钱买棺椁, jiazhong wuqian mai guanguo,	真叫人越思越想越伤情, zhen jiaoren yue si yue xiang yue shangqing,
136	东安村中留义名,	无奈何到在西村儿去找陶荣, wunaihe dao zai xicuer qu zhao Taorong,	
137	<u>思思想想来的快,</u>	不知道他是怎样一个陶乡宦, <u>buzhidao ta shi zenyang yige Tao xiang huan,</u>	
138	进庄村, <u>来到陶家府门庭。</u>	不知道人家是否把我收容, <u>buzhidao renjia shifou ba wo shourong,</u>	
139		一旦是收留于我买一口棺椁, yidan shi shoulu yu wo mai yikou guanguo,	
140		把奶奶送进那座坟园, ba nainai songjin nazuo fenyuan,	
141		<u>思思想想来的快,</u> <u>sisixiangxiang laide kuai,</u>	你看他 <u>思思想想来的快,</u> nikan ta <u>sisixiangxiang laide kuai,</u>
142		<u>西村儿不远对前胸,</u> xicuer buyuan dui qianxiong,	<u>西村儿不远紧对前胸,</u> xicuer buyuan jinduì qianxiong,
143		刹时间来到了陶荣的府门外, shashijian laidao liao Tao rong de fumen wai,	他们二人刹时来到陶荣的府门外, tamen erren shashi laidao Tao rongde fumen wai,
144		二人立时地停下身行, erren lishi di tingxia shenxing,	
145		李义他眼望着马在兴开了口, Liyi ta yanwang zhe Mazaixing kailiao kou,	这李义上前叩门就开了声。 zhe Liyi shangqian koumen jiu kailiao sheng.
146		叫声马在行你是听。 jiao sheng Mazaixing ni shi ting.	

5 (9) 147	到在陶府门外, 李义说, “你在这儿先等着,	〔說〕 马在兴, 到了这就是你先在这儿等一会儿, Mazaixing, daole zhe jiushi ni xianzai zher deng yihuier,	
148	我先去见陶乡宦。”“就依老哥。”李义	我呀, 上前呢, 叩门。一旁说着, 这李义 woya, shangqian ne, koumen, yipang shuozhe, zhe Liyi	
149	上前叩门, 家院把门开放问道, “何事?”	上前叩门。 <sup>x x x</sup> (醒木) 时间不大, 这○这门呢, shangqian kou men. shijian buda, zhe ○ zhemen ne,	〔說〕 李义上前叩门, Liyi shangqian koumen,
150	“烦劳通禀 陶老爷, 就说东村李义求见。”	就给打开了。从那里边呢, 出来一个家丁, jiu gei dakai le, cong na li bian ne, chulai yige jiading,	正好出来一个家丁开门, “欸, 什么事啊?” zhenghao chulai yige jiading kamen, e, shenme shi a?
151	家院说声“少等”往里传禀。	这李义赶紧地说, “你赶紧往里通禀, 就 zhe Liyi ganjin de shuo, ni ganjin wangli tongbin, jiu	李义说, “赶紧往里通禀老爷, 就说呀, 东 Liyi shuo, ganjin wangli tongbin laoye, jiu shuo ya, dong
152		说呀, 东村儿的李义求见老爷。” shuo ya, dongcuerde Liyi qiujian laoye.	村儿的李义要求见老爷。” cuerde Liyi yaoqiu jian laoye.
153		“好吧, 你在这儿等着。”一旁说着, 这个 haoba, ni zaizher dengzhe. yipang shuozhe, zheige	“好啦, 外边等着, ”一边说着, 这家 haola, waibian dengzhe, yibian shuozhe, zhejia
154		家丁, ■■■去禀知陶荣。 jiading, dengdengdeng qu bingzhi Taorong.	丁■■■■往里前去通禀。 ding dengdengdeng wangli qian qu tongbin.
155	这位陶乡宦名叫陶荣, 字永茂, 曾做过	这个陶荣啊, 他想当初啊, 也在朝做过官儿。 zheige Taorong a, ta xiang dangchu a, ye zaichao zuoguo guar.	
156	扬州太守, 而今还乡。夫人早亡,	现在呢, 回家不干回家无能了。这陶荣的夫人 xianzai ne, huijia bugan huijia wunengle, zhe Taorong de furen	
157	撇下一女, 名叫陶丽春。	早就死去。撇下一个女儿叫陶丽春。 zao jiu siqu, piexia yige nuer jiao Taolichun.	
158	今年一十六岁,	这陶丽春小姐呀, 是年长一十六岁。 zhe Taolichun xiaojie ya, shi nuanzhang yishilu sui,	

159		这陶丽春呢,不但人长得特别漂亮,而且 zhe Taolichun ne,budan ren zhangde tebie piaoliang,erqie	
160		呢,聪明伶俐。这陶荣还有一个二房 ne,congming lingli,zhe Taorong haiyou yige erfang	
161	这陶荣有一妾,生了一子,	妾小,她那个二房妾小啊,生了一个儿子, qie Xiao,ta neige erfang qie Xiao a,sheng le yige erzi,	
162	名叫午郎,今年刚四岁。	这儿子叫午郎。今年刚刚五岁。 zhe erzi jiao wulang.jinnian ganggang wu sui.	
163	这天,陶荣正在书房看书,	那么这一天呢,这陶荣正坐在书房里看书 name zhe yitian ne,zhe Taorong zheng zuozai shufang li kanshu	那么今天,这个陶荣呢,正在书房看书呢。 name jintian,zheige Taorong ne,zhengzai shufang kanshu ne.
164	家院来报,	呢,忽然间,门帘儿一挑从打外边儿进了 ne, huran jian,menlian yitiao cong da waibian jin le	忽然间呢,从打外边儿进来一个家丁。 huran jian ne,cong da waibian jinlai yige jiading.
165		一个家丁。 yige jiading.	这家丁啊,来到书房。 zhe jiading a,laidao shufang.
166	“启禀老爷,东村李义求见!”	“说报老爷得知。府门以外呀,有一个 shuobao laoye dezhi,fumen yiwai ya,you yige	“老爷,外边儿啊,有一个人是东村儿的李义 laoye,waibian a,you yige ren shi dongcuer de Liyi
167	陶荣命进见。	叫李义的想法见老爷。”“噢,李义, jiao Liyi de xiang qiujian laoye.ou,Liyi,	要求见老爷。”“噢,他来干什么?你 yaoqiu jian laoye.ou,ta lai gan shenme? ni
168	家院到外边叫来李义,	叫他进来。”“是。”一旁说着,家丁啊, jiao ta jinlai.shi.yipang shuozhe,jiading a,	叫他进来吧。”“好啦。”一边说着这家 jiaota jinlai ba,hao la.yibian shuozhe zhe jia
169	李义进了书房,见礼已毕,陶荣问,	就出去了。来到府门以外,和李义说。 jiu chuqu le.laidao fumen yiwai,he Liyi shuo.	丁来到府门以外,“我们老爷叫你 ding dengdengdeng laidao fumen yiwai,women laoye jiao ni
170		带着李义呢,来见陶荣。简单说来到陶荣 daizhe Liyi ne,laijian Taorong.jiandan shuo laidao Taorong	进去哪,快去吧。”一边说着这李义 jinqu na,kuaiqu ba.yibian shuozhe zhe Liyi

171		的 <u>书房</u> ， <u>见过</u> 老爷。 de shufang, jianguo laoye.	就跟着家丁来到 <u>书房</u> ， <u>见过</u> 陶荣。陶荣说， jiu genzhe jiadng laidao shufang, jianguo Taorong Taorong shuo,
172	“不知来此为了何事？”	“ <u>李义</u> 呀，你来到我的府中有什么事儿呢？” Liyi ya, ni laidao wode fuzhong you shenme shier ne?	“ <u>李义</u> ，你来到我这儿有什么事儿啊？” Liyi, ni laidao wo zher you shenme shier a?
173	“我村○瘟神邢赞祖母亡故，马在兴无钱	“老爷， <u>是这么回事</u> 。我们村儿的邢赞 laoye, shi zHEME huishi, women cuer de Xingzan	“ <u>是这么回事</u> ，老爷。我村儿的邢赞他奶奶 shi zHEME huishi, laoye, wo cuer de Xingzan ta nainai
174	买棺木，问我哀告，求我到此来靠老爷。”	他奶奶死了。”“他奶奶死了，找我 ta nainai si le, ta nainai si le, zhaowo	死了。”“他奶奶死了找我干什么？” si le, ta nainai si le zhao wo gan shenme?
175		干什么？” gan shenme?	
176		“ <u>是这么回事</u> 。他那个 <u>结义的哥哥</u> ， <u>马</u> shi zHEME huishi, ta neige jieyi de gege, Ma	“ <u>是这么回事</u> ，嘿嘿，邢赞呢，现在也重 shi zHEME huishi, heihei, Xingzan ne, xianzai ye zhong
177		在兴啊，家中没钱，没钱买棺子。 zaixing a, jiazhong meiqian, meiqian mai guanzi.	病在床。人事不清。只有他这个结义的 bing zaichuang, renshi buqing, zhiyou ta zhege jieyi de
178		找我呀，来找您。” zhaowo ya, lai zhaonin,	<u>哥哥</u> 呀， <u>马在兴</u> 。他没钱没钱买棺子。 gege ya, Mazaixing, ta meiqian meiqian mai guanzi.
179	“ <u>靠什么</u> ？”	“找我干什么？” zhaowo gan shenme?	叫我来求求老爷。” jiao wo lai qiuqiu laoye.
180	“ <u>给您做活</u> ，我做保，叫他写文约。”	“ <u>是这么一回事</u> 。他愿意给您做活儿。 shi zHEME yihuishi, ta yuanyi geinin zuohuor.	“ <u>是这么回事</u> ，他想给您干活儿，给您 shi zHEME huishi, ta xiang geinin ganhuor, gei nin
181		一年的 <u>工钱</u> 您先给他，给他以后，他 yinian de gongqian nin xian geita, geita yihou, ta	做小活儿。您把 <u>工钱</u> 呢，“先给他，他买口 zuo xiaohuor, nin ba gongqian ne, xian gei ta, ta maikou
182		到家中买口棺材。把他奶奶先埋了， dao jiazhong maikou guancai, ba ta nainai xian mai le,	棺子先把他奶奶埋了， guanzi xian ba ta nainai maile,

183		埋了以后呢， <u>再</u> 来到您的府中，给您 mai le yihou ne, zai laidao nin de fuzhong, geinin	然后再来给您干活儿， ranhou zai lai gei nin ganhuor,
184		干活儿。 <u>不知</u> 老爷是否愿意。” ganhuor, buzhi laoye shifou yuanyi,	不知老爷您是否愿意？” buzhu laoye nin shifou yuanyi?
185	陶荣一听满心欢喜，说	陶荣，他 <u>正</u> 想找这么一个人儿呢，那还不愿意 Taorong, ta zhengxiang zhao zHEME yige rer ne, na hai bu yuanyi	陶荣一听心里话，我 <u>正</u> 想找这么个人儿呢。 Taorong yiting xinli hua, wo zhengxiang zhao zHEME ge rer ne.
186	“做活不好，因为他很年幼，力软身弱，	吗。“好。你出去跟他问问。你问问他是 ma, hao, ni chuqu gen ta wenwen, ni wenwen ta shu	我还不愿意吗？“好，那我就同意了。不 wo hai bu yuanyi ma? hao, na wo jiu tongyi le. bu
187	非买就得当他，你去与他商议。”	愿意当身呢，还是愿意卖身。我呢， yuanyi dangshen ne, haishi yuanyi maishen, wo ne,	过你去问问他。你问他是愿意当身呢， guo ni qu wenwen ta, ni wen ta shu yuanyi dangshen ne,
188		不买他，我就当他。” bu maita, wo jiu dang ta,	还是愿意卖身。我呀，不当他就买他。” haishi yuanyi maishen, wo ya, bu dang ta jiu mai ta,
189	李义这才到府门以外和太子说了。	李义说“好吧，我去问问他。” Liyi shuo haoba, wo qu wenwen ta.	李义这么一听，“好吧，我到外边去问 Liyi zHEME yiting, haoba, wo dao waibian qu wen
190		一旁说着呀，出了书房，来到府门以外 yipang shuoze ya, chu le shufang, laidao fumen yiwai	问他。”简单说这李义就来到府门以外。 wenta, jiandan shuo zHE Liyi jiu laidao fumen yiwai,
191		就和太子马潜龙这么一说。马潜龙这么 juhe taizi Maqianlong zHEME yishuo, Maqianlong zHEME	跟太子马潜龙这么一说。马潜龙一想 gen taizi Maqianlong zHEME yishuo, Maqianlong yixiang
192		一着么。我要是卖给他呀，就是人家的 yizhuome, wo yaoshi mai gei ta ya, jiushi renjia de	我要是卖给他我就是人家的人啦。我要是 wo yaoshi mai gei ta wo jiushi renjia de ren la, wo yaoshi
193		人了。那么我要是当给他呢，我以后有 renle, name wo yaoshi dang gei ta ne, wo yihou you	当给他呢，以后有钱还可以赎回来。 dang gei ta ne, yihou you qian hai keyi shu hui lai,
194	太子请愿当身。	钱呢，还可以赎回来。“那么我就当身吧。” qian ne, hai keyi shu hulai, name wo jiu dangshen ba,	“这么着吧，我当身吧。” zHEME zHE ba, wo dangshen ba.

195		李义说“好，你如果愿意当身，那么你	“好，那你跟我去见见陶荣爷吧。”
196		Liyi shuo hao, ni ruguo yuanyi dangshen, name ni	hao, na ni gen wo qu jianjian Taorongye ba.
197	随李义进府叩见陶荣。	就跟我走吧，去见见这位陶老爷。”	
198		jiu gen wo zouba, qu jianjian zhewei Tao laoye.	
199	陶荣问太子	“好吧，头前引路。”一旁说着，跟着	一边说着，俩人到书房来见陶荣。简单说
200	“愿当身还是愿卖身？”	haoba, touqian yinlu, yipang shuozhe, genzhe	yibian shuozhe, liangren dao shufang lai jian Taorong. jian dan shuo
201		李义就来到了陶荣的书房。太子马潜龙	太子马潜龙来到书房见过了陶荣。陶荣一
202	太子说“情愿当身。但必须答应我葬了祖母	Liyi jiu laidao le Taorong de shufang. taizi Maqianlong	taizi Maqianlong laidao shufang jianguo le Taorong. Taorong yi
203	再来扶持老爷。”	上前弓身失礼，说道是马在兴见过老爷。	看，也特别喜欢这马在兴。
204		shangqian gongshen shuli, shuodao shu Mazaixing jianguo laoye.	kan, ye tebie xihuan zhe Mazaixing.
205	“那是自然。与你当银十两，明日写当契，	“马在兴啊，那么你是愿意当身呢，还	“好啊，马在兴，我问你，你是愿意当身呢，
206	拿回银子办完丧事就来。”	Mazaixing a, name ni shi yuanyi dangshen ne, hai	hao, Mazaixing, wo wen ni, ni shi yuanyi dangshen ne,
		是愿意卖身呢？”	还是愿意卖身呢？我呀，不买你就当你。”
		shu yuanyi maishen ne?	haishu yuanyi maishen ne? wo ya, bu mai ni jiu dang ni
		“我愿意当身。”	马潜龙说“我愿意当身。”
		wo yuanyi dangshen.	Maqianlong shuo wo yuanyi dangshen.
		“好，我给你十两银子。就是十两当银。	“好，我给你十两当身的银子。你先拿回
		hao, wo gei ni shiliang yinzi, jiushi shiliang dangyin.	hao, wo geini shiliang dangshen de yinzi, ni xian na hu
		你呢，拿着回家，先买口棺材，买口棺	去。拿回去回家买口棺材把你奶奶埋了，
		ni ne, nazhe huijia, xian mai kou guancai, maikou guan	qu, na huiqu huijia mai kou guanzi ba ni nainai maile,
		材呀，把你奶奶埋以后再来给我干活。	然后啊，再来这儿给我干活儿。”
		cai ya, ba ni nainai mai yihou zai lai gei wo ganhuo.	ranhou a, zai lai zher gei wo ganhuo.
		来呀，取十两银子，交给马在兴。”	太子马潜龙一听。人家也太好啊，没〇什
		lai ya, qu shiliang yinzi, jiaogei Mazaixing.	taizi Maqianlong yitung. renjia ye taihao a, mei〇shen

207	太子接过银子，连连叩谢，出陶府回家	立时有家人呢，就取来了十两银子，交给了太子	么事就答应了。“多谢老爷。”“嗨，你别客气，来呀，取十两银子。”当时有家人就拿过十两银子递给了太子马潜龙。马潜龙
208	丧祖母。	子马潜龙。马潜龙一看特别高兴。	气，来呀，取十两银子。”当时有家人就拿过十两银子递给了太子马潜龙。马潜龙
209		zi Maqianlong, Maqianlong yikan tebie gaoxing.	naguo shiliang yinzi di gei le taizi Maqianlong, Maqianlong
210		欢欢喜喜得辞别了陶荣。	高高兴兴地辞别了陶荣回到家中。****
211		huanhuanxixi de cibie le Taorong.	gaogaoxingxing di cibie le Taorong huidao jiazhong. (鼓)
211		这才呢，来到家中。	好○的就算买了口棺材，在左右邻居
211		zhecaine, laidao jiazhong.	hao○de jiusuan mai le kou guanzi, zai zuoyou linju de
211		让一些人帮忙，买来了一口棺材。在左右	帮助下，总算把他奶奶呀，就送到坟里去
212		rang yixie ren bangmang, mai lai le yikou guancai, zai zuoyou	bangzhu xia, zong suan ba ta nainai ya, jiu songdao fenliu
212		邻居的帮助下，好○呀，就算是把老奶奶送到	啦，埋啦，埋了以后啊，就把那坟托付给
212		linju de bangzhu xia, hao○ ya, jiu suan shu ba lao nainai songdao	la, maila, maile yihou a, jiu ba Xingzan tuofu gei
213		坟墓里边儿去了。就给埋葬了。埋葬以后呢，	左右邻居给照着看。
213		fenmu li biar qule. jiu gei maizang le. maizang yihou ne,	zuoyou linju gei zhaokan zhe.
214		他就把这那坟呢，托付给左右邻居。给照看	自己呢，就到在陶荣的府中给人家干活儿。
214		ta jiuba zhe Xingzan ne, tuofu gei zuoyou linju, gei zhaokan	ziji ne, jiu dao zai Taorong de fuzhong gei renjia ganhuor.
215		着，然后自己呢，到在陶荣的府中给他干活。	那么，给他干什么活儿呢？
215		zhe, ranhou ziji ne, dao zai Taorong de fuzhong gei ta ganhuo.	name, gei ta gan shenme huor ne?
216		干什么活呢？	
216		gan shenme huo ne?	
217			这个陶荣啊，想当初啊他也做过官儿，他的夫
217			zhege Taorong a, xiang dangchu a ta ye zuoguo guanr, tade fu
218			人早就去世，撇下一个女儿，叫陶丽春。
218			ren zao jiu qushu, piexia yige nuer, jiao Tao lichun.



219			小姐陶丽春今年年长一十六岁。人长得是 xiaojie Taolichun jinnian nianzhang yshulu su, ren zhangde shu
220			特别漂亮。不但人长得漂亮而且聪明伶俐。 tebie piaoliang, budan ren zhangde piaoliang erqie congmng lingli.
221			这陶荣呢, 还有个二房妾小。这二房妾小 zhe Taorong ne, haiyou ge erfang qexiao, zhe erfang qexiao
222			生了一个儿子叫午郎。今年刚刚五岁。 sheng le yige erzi jiao wulang, jinnian ganggang wusui.
223	简短截说, 把祖母安葬已毕, 这才到陶	这陶荣不叫他干别的, 就叫他看孩子。 zhe Taorong bu jiaota gan biede, jiu jiao ta kan haizi.	陶荣呢, 就叫太子马潜龙给他看儿子。 Taorong ne, jiu jiao taizi Maqianlong gei ta kan erzi.
224	府来, 陶荣命太子哄着他儿子午郎玩耍,	每天呢, 就看着他那个儿子, 他有个儿子嘛, meitian ne, jiu kanzhe ta neige erzi, ta youge erzi ma.	看着他的孩子, 午郎。所以说太子马潜龙从这 kanzhe ta de haizi, wulang, suoyi shuo' taizi Maqianlong cong zher
225	从此后, 太子马潜龙每天哄着午郎玩。	叫午郎, 刚五岁了。太子马潜龙啊, 每天 jiao wulang, gang wusui le, taizi Maqianlong a, meitian	儿呢, 每天就看着这小公子午郎玩儿。 ne, meitian jiu kanzhe zhe xiao gongzi wulang war.
226		就看着他这个儿子。 jiu kanzhe ta zhei ge erzi.	
227	这一天, 陶荣的女儿丽春小姐用罢午饭,	咱们单说这一天。这一天中午。天很热。 zanmen danshuo zhe yitian, zhe yitian zhongwu, tian henre.	咱们单说这一天中午。小姐陶丽春吃罢了 zanmen dan shuo zhe yitian zhongwu, xiaojie Taolichun chi ba le
228	叫她那贴身丫环凌云	小姐陶丽春, 一看天气特别热, 眼望着丫 xiaojie Taolichun, yikan tianqi tebie re, yanwang zhe ya	午饭。觉得天儿挺热, 眼望丫环凌云就 wufan, juede tianr tingre, yawang yahuan lingyun jiu
229		环就说了。 huan jiu shuo le.	说了。 shuo le.
230	“凌云, 你看这天气闷热, 何不同姑娘到	“凌云呢, 你看天儿这么热, 你何不带着姑 lingyun ne, ni kan tianr zhemre, ni hebu daizhe gu	“凌云呢, 你看今天天儿这么热, 你何不 lingyun ne, ni kan jintian tianr zheme re, ni hebu

231	花园避暑亭去避暑?”	娘到这后花园避暑亭，前去避暑呢。” nuang dao zhe hou huayuan bishu ting, qianqu bishu ne.	带着姑娘到在后花园避暑亭前去避暑 daizhe gu niang dao zai hou huayuan bishu ting qianqu bishu
232	凌云说，	那么这小丫环一听，说， name zhe xiao yahuan yiting, shuo,	呢。”小丫环凌云说 ne. xiao yahuan lingyun shuo
233	“奴婢遵命！”	“小姐如果您愿意去，那还不好吗？那么 xiaojie ruguo nin yuanyi qu, na hai buhao ma? name	“小姐，如果您愿意的话，那还不行吗？ xiaojie, ruguo nin yuanyi de hua, na hai buxing ma?
234		您就跟我走吧。” nin jiu gen wo zou ba.	请跟我来吧。” qing gen wo lai ba.
235	说着，扶陶丽春小姐下了绣楼，奔花园	“好吧，头前引路。”一旁说着，这主仆 haoba, touqian yinlu, yipang shuozhe, zhe zhupu	“好，头前引路。”一边说着，这小丫环 hao, touqian yinlu, yibian shuozhe, zhe xiao yahuan
236	而来。	二人要到这花园前去避暑。才和太子马潜 erren yaodao zhe huayuan qian qu bishu, cai he taizi Maqian	头前引路小姐跟随在后直奔花园而来。 touqian yinlu xiaojie gensui zaihou zhiben huayuan erlai,
237		龙相逢，那么后事如何休息片刻。 long xiangfeng, name houshi ruhe xiuxi pianke.  〈休けい〉	
238		闲言少叙，开本儿去唱。 xianyan shaoxu, kaiber qu chang.  〈過門(間奏)〉  〔唱〕	
239		月出东来照窗上， yue chu dong lai zhao chuangshang,	
240		炕头上坐着一位老大妈， kangtou shang zuozhe yiwei laodama,	

241	老大娘忽然想起一件事儿， lao daniang huran xiangqi yijian sher,
242	今天正是正月初八， jintian zhengshi zhengyue chuba,
243	在往年都是人家把我请， zai wangnian doushi renjia ba wo qing,
244	今年我也得请请大家， jinmian wo ye dei qingqing dajia,
245	开眼就把儿媳叫， kaiyan jiu ba erxi jiao,
246	叫一声儿媳儿媳你先听人呀， jiao yisheng erxi erxi ni xian tung renya,
247	你赶紧南对门儿请来张二姑， ni ganjin nan duimer qing lai Zhang ergu,
248	北对门儿请来那位老王家， bei duimer qing lai nawei lao Wangjia,
249	西街边儿请来那位李二婶， xijiebiar qing lai nawei Liersher,
250	东街边儿请来那位鸟贤妈， dongjiebiar qing lai nawei niao xian ma,
	〈過門(問奏)〉
251	儿媳问听， erxi wenting,

252	不怠慢跑西家又跑东家， budai man pao liao xijia you pao dongjia,	
253	刹时间南对门儿请来了张二姑， sha shijian nan duimer qing lailao Zhang ergu,	
254	北对门儿又请来了老王家， bei duimer you qing lailiao lao Wangjia,	
255	西街边儿请来那位李二婶， xi jiebian qing lai nawei Li ersher,	
256	东街边儿请来那个鸟贤妈， dongjebian qing lai nei ge niao xian ma,	
257	众位亲友都来到，还带来两个小娃娃， zhongwei qinyou dou laidao, hai dalai liangge xiao wawa, 〔説〕	
258	那我说带孩子干什么呀？带孩子，那个馋 na wo shuo dai haizi gan shenme ya? dai haizi, neige chan	
259	人有好处，有什么好处呢，你比方说，那 ren you haochu, you shenme haochu ne, ni bifang shuo, na	
260	韭菜摆好了，一碟一碟又一碟，哈哈，那个 jiucaai baihao le, yidier yidier you yidier, haha, neige	
261	馋人他一听那个香味呢，哈哈，他那个唾 chanren ta yiting nei ge xiangwei ne, haha, ta neige tuo	
262	沫出来了，哈哈，“小挟口吃吧，人家， mo chulai le, haha, xiaojia kou chu ba, renjia,	
263	大家都没夹了。怪不好意思的。”她就想起 dajia dou mei jia le, guai buhao yisi de, ta jiu xiangqi	

264		那小孩儿了。那么，当时想起那小孩儿， na xiao hair le, name, dangshi xiangqi na xiaohair,	
265		她照那小孩儿的大腿上，○？就拧这么一 ta zhao na xiaohair de datui shang, on? jiu ning zheme yi	
266		把。那小孩儿，他哭啊。一疼他不哭吗？ ba, na xiaohair, ta ku a. yiteng ta buku ma?	
267		当时哇哇，就这么一哭。他妈就说了。 dangshi wawa, jiu zheme yiku. ta ma jiu shuole.	
268		“小败家的儿，你哭什么，不带你来，你非来 xiao baijia der, ni ku shenme, budai ni lai, ni feilai	
269		不可，这回带你来你又哭，你馋着是怎么 buke, zehui daini lai ni youku, ni chanzhe shu zenme	
270		着？啊？”大家一看，“得了，得了，得了。 zhe? a? dajia yikan, dele, dele, dele.	
271		这小孩子是饿了，你给他夹口吃吧，啊。” zhe xiaohaizi shi e le, ni geita jiakou chi ba, a.	
272		正等这句话呢，“好，等着，妈给你夹口吃 zhengdeng zheju huane, hao, dengzhe, ma geini jia kou chi	
273		啊？”一旁说着，一伸筷子，这么一夹再 a? yipang shuozhe, yishen kuaizi, zheme yijia zai	
274		这么一拧，那一盆儿还不得了。（顾客笑v） zheme yining, na yiber hai bu de le.	
275		你○○○，刚烧着太热呀，你给他炆火炆 ni○○○, gang shao zhe taire ya, ni gei ta wenhuo wen	

276	火吹吹。他不。夹了以后，照小孩儿的 huo chuichui, ta bu, jia le yihou, zhao xiaohair de
277	嘴，嗯，这么一对，那小孩儿烫的很。 zui, ng, zheme yidui, na xiaohair tangde hen.
278	这么一烫呵，小孩儿还是哭。还是哇哇一 zheme yitang he, xiao hair haishi ku, haishi wawa yi
279	劲儿地哭。他妈又说了，“啊，你又哭 jier de ku, ta ma you shuo le, a, ni you ku
280	这回给你夹了，你又哭，你看都弄脏了， zhehui gei ni jia le, ni you ku, ni kan dou nongzang le,
281	送回去谁吃啊，哈哈妈吃了吧。”（観客笑い） song huiqu shui chi a, haha ma chi le ba. 〔唱〕
282	闲言少叙，往下讲， xianyan shaoxu, wangxia jiang,
283	听我往下说得更详， ting wo wangxia shuo de geng xiang,
284	刹时间一个桌子往炕上翻， sha shijian yige zhuozi wang kangshang fan,
285	四个盘子往桌上拿， sige panzi wang zhuoshang na,
286	头一盘儿装的本是栗子枣儿， tou yi par zhuangde benshi lizi zaor,
287	第二盘儿装的本是那大了花， di er par zhuangde benshi na daliào hua,

288		三一盘儿装的本是大炸○儿, san yi par zhuangde benshi da zha○r,	
289		四一盘儿有四个核桃没有扒皮儿渣, si yi par you sige hetao meiyou ba pir zha,	
290		张二姑伸手抓了一把栗子枣儿, Zhang ergu shenshou zhualiao yiba lizi zaor,	
291		那老王家伸手抓了一把大了花, na lao Wangjia shenshou zhua liao yiba da liaohua,	
292		李二婶伸手抓了一把大炸○儿, Li ersher shenshou zhualiao yiba da zha○r,	
293		这回可急坏那个鸟贤妈, zhehui ke ji huai neige niao xianma,	
294		你看她, 往往袖子, ni kan ta, wangwang xiuzi,	
295		一伸手四个核桃就抓来了三, yi shenshou sige hetao jiu zhulai liao sa,	
296		那核桃没有砸皮儿就往下咽, na hetao mei you zapir jiu wangxia yan,	
297		就听到哗啦哗啦好几哗啦, jiu ting dao huala huala haoji huala,	
298		咽了几咽也没咽下去, yanle jiyen ye mei yan xia qu,	
299		不知是噎了啥得疙瘩, (顾客笑い) buzhi shi ye liao shade geda,	

300	噻得她在着炕上来回打滚儿, yede ta zai zhe kangshang laihui dagur,	
301	四个碟子就蹬打了三, sige diezi jiu dengda liao sa,	
302	这一打滚儿, 暂且不表, 这个时候, zheyi dagur, zanqie bubiao, zhege shihou,	
303	正赶上有个小孩儿拉了吧吧, zheng ganshang youge xiao hair la liao baba,	
304	这一打滚儿, 不要紧, 嗨, zhe yi da gur, buyaojin, he,	
305	闹了一身汪尿渣, naoliao yishen wang shi zha,	
306	老太太一看, 有了尿, lao taitai yikan, you liao shu,	
307	从今后, 再也不请那鸟贤妈。 congjin hou, zai ye bu qing na niao xian ma.  〈過門(間奏)〉	
308	三言五语一个小段儿, 急回来, sanyan wuyu yige xiao duar, ji huilai,	
309	听我把正书说得更详, ting wo ba zhengshu shuo de geng xiang,	
310	在上回说的哪家哪一个众明公, zai shang hui shuo de najia na yige zhong minggong,	



311		<p>听我往下说更详。 ting wo wangxia shuo geng xiang.</p> <p>〔说〕</p> <p>书接上回。在上回书说道。那么小姐陶丽 shujie shanghai, zai shanghai shu shuodao, name xiaojie Taoli</p> <p>春想到在后花园避暑亭前去避暑。小丫环 chun xiangdao zai hou huayuan bishu ting qianqu bishu, xiao yahuan</p> <p>凌云说, “小姐, 你跟我来。” 一旁说着 lingyun shuo, xiaojie, ni gen wo lai, yipang shuozhe</p> <p>头前引路, 后跟着小姐陶丽春, 直奔后花 touqian yinlu, hou genzhe xiaojie Taolichun, zhiben hou hua</p> <p>园, 前去避暑。 yuan, qianqu bishu.</p> <p>〈过门(间奏)〉</p>	
(10) 317	<p><u>丫环凌云在头前,</u></p> <p>318 <u>后跟着丽春小姐这位女婊娟,</u></p> <p>319 <u>要问小姐怎打扮,</u></p> <p>320 <u>众位不知听我言,</u></p>	<p>〔唱〕</p> <p><u>丫环迈步走在前,</u> yahuan maibu zou zaiqian,</p> <p><u>后跟着小姐这么女婊娟,</u> hou genzhe xiaojie zhome nu chanjuan,</p> <p><u>要问小姐怎么打扮,</u> yao wen xiaojie zenme daban,</p> <p><u>众位不知你们听我言,</u> zhongwei buzhi nimen ting wo yan,</p>	<p>〔唱〕</p> <p><u>小丫环迈步走在前,</u> xiao yahuan maibu zou zaiqian,</p> <p><u>后跟着小姐女婊娟,</u> hou genzhe xiaojie nu chanjuan,</p> <p><u>要问这小姐怎么打扮,</u> yao wen zhe xiaojie zenme daban,</p> <p><u>众位不知听我言,</u> zhongwei buzhi ting wo yan,</p>

321		只见她, zhi jian ta,	只见她, zhi jian ta,
322	江南官粉拍满芙蓉面,	江南的官粉拍满芙蓉面, jiangnan de guanfen paiman furong mian,	江南的官粉拍满芙蓉面, jiangnan de guanfen paiman furong mian,
323	面似桃花三月鲜,	面似桃花三月鲜, miansi taohua sanyue xian,	面似桃花三月鲜, miansi taohua sanyue xian,
324	鲜红一点樱桃口,	鲜红一点樱桃口, xianhong yidian yingtao kou,	鲜红一点樱桃口, xianhong yidian yingtao kou,
325	口内银牙似玉含,	口内银牙似玉含, kou nei yinya si yu han,	口内银牙似玉含, kou nei yinya si yu han,
326	含光闪动秋波眼,	含光闪动秋波眼, hanguang shandong qiubo yan,	含光闪动的秋波眼, hanguang shandong de qiubo yan,
327	眼含秋水柳眉弯,	眼含秋水呢柳眉弯, yanhan qiushui ne liumei wan,	眼含秋水柳眉弯, yanhan qiushui liumei wan,
328	弯弯双眉如新月,	弯弯双眉如新月, wanwan shuangmei ru xinyue,	弯弯双眉如新月, wanwan shuangmei ru xinyue,
329	月朗清晰似春山,	月朗清晰似春山, yue lang qingxi si chunshan,	月朗清晰似春山, yue lang qingxi si chunshan,
330	山峰高朗白玉柱,	山峰高朗白玉柱, shanfeng gaolang bo yuzhu,	山峰高朗白玉柱, shanfeng gaolang bo yuzhu,
331	玉柱琼瑶鼻如胆悬,	玉柱琼瑶鼻如胆悬, yuzhu qiongyao bi ru danxuan,	玉柱琼瑶鼻如胆悬, yuzhu qiongyao bi ru danxuan,
332	悬挂珍珠村玉耳,	悬挂珍珠村玉耳, xuangua zhenzhu chen yu er,	悬挂珍珠村玉耳, xuangua zhenzhu chen yu er,

333	<u>耳戴八宝赤金环,</u>	<u>耳戴八宝赤金环,</u> <u>erdai babao chi jinhuan,</u>	<u>耳戴八宝赤金环,</u> <u>erdai babao chi jinhuan,</u>
334	<u>环绕青丝梅花发,</u>	<u>环绕青丝梅花发,</u> <u>huanrao qingsi meihua fa,</u>	<u>环绕青丝梅花发,</u> <u>huanrao qingsi meihua fa,</u>
335	<u>发鬓斜插碧玉簪,</u>	<u>发鬓斜插着碧玉簪,</u> <u>fabin xiecha zhe biyu zan,</u>	<u>发鬓斜插着碧玉簪,</u> <u>fabin xiecha zhe biyu zan,</u>
336	<u>碧玉簪上灯笼穗儿,</u>	<u>碧玉簪上灯笼穗儿,</u> <u>biyu zan shang denglong suer,</u>	<u>碧玉簪上灯笼穗儿,</u> <u>biyu zan shang denglong suer,</u>
337	<u>灯笼穗上宝珠穿,</u>	<u>灯笼穗儿上宝珠穿,</u> <u>denglong suer shang baozhu chuan,</u>	<u>灯笼穗儿上宝珠穿,</u> <u>denglong suer shang baozhu chuan,</u>
338	<u>穿件红绫绣花袄,</u>	<u>穿件红绫绣花袄,</u> <u>chuanjian hong ling xiu huao,</u>	<u>穿一件红绫绣花袄,</u> <u>chuan yijian hong ling xiu huao,</u>
339	<u>袄外套的是翠花衫,</u>	<u>袄外套的是翠花衫,</u> <u>ao wai taode shi cui huashan,</u>	<u>袄外套的是翠花衫,</u> <u>ao wai taode shi cui huashan,</u>
340	<u>衫袖半露描花腕,</u>	<u>衫袖半露着描花腕,</u> <u>shanxiu ban lu zhe miao huawar,</u>	<u>衫袖半露着描花腕,</u> <u>shanxiu ban lu zhe miao huawar,</u>
341	<u>描花腕长十指尖,</u>	<u>描花腕长十指尖,</u> <u>miao hua war zhang shi zhijian,</u>	<u>描花腕长十指尖,</u> <u>miao hua war zhang shi zhijian,</u>
342	<u>指尖十指扶裙带,</u>	<u>十指尖尖扶裙带,</u> <u>shizhi jianjian fu qundai,</u>	<u>十指尖尖扶裙带,</u> <u>shizhi jianjian fu qundai,</u>
343	<u>裙带紧把罗裙缠,</u>	<u>裙带紧把罗裙缠,</u> <u>qundai jinba luoqun chan,</u>	<u>裙带儿紧把罗裙缠,</u> <u>qundar jinba luoqun chan,</u>
344	<u>缠绕罗裙捏百褶,</u>	<u>缠绕罗裙捏百褶,</u> <u>chanrao luoqun nie bai zhe,</u>	<u>缠绕罗裙捏百褶,</u> <u>chanrao luoqun nie bai zhe,</u>

345	<u>百褶裙飘似飞仙,</u>	<u>百褶裙飘似飞仙,</u>	<u>百褶裙飘似飞仙,</u>
		<u>baizhe qun piao si feixian,</u>	<u>baizhe qun piao si feixian,</u>
346	<u>仙女不如小姐美,</u>	<u>仙女不如小姐美,</u>	<u>仙女不如小姐美,</u>
		<u>xiannüer buru xiaojie mei,</u>	<u>xiannüer buru xiaojie mei,</u>
347	<u>美貌女子到花园。</u>	<u>美貌女子到花园。</u>	<u>美貌女子到花园。</u>
		<u>meimao nüzi dao huayuan,</u>	<u>meimao nüzi dao huayuan,</u>

## 資料2 『故事の梗概』（資料1の節（7）前半該当部分）

祖母让邢赞放了步俅儿  
 问了太子的家乡居久  
 见无家可奔可怜  
 让到家中和邢赞结为弟兄  
 祖孙三人共度苦日  
 太子在此安身

## 文 献

(中国語文献は著者名の拼音ローマ字のアルファベット順)

- BAUMAN, Richard  
 1975 Verbal Art as Performance. *American Anthropologist* 77 (2):290-311.
- BEN-AMOS, Dan and Kenneth S. GOLDSTEIN  
 1975 *Folklore: Performance and Communication*. The Hague and Paris: Mouton.
- 段 宝林  
 1989 「曲藝特性初探」『曲藝特徵論』北京：中国曲藝出版社，pp. 46-61。
- FINE, Elizabeth C.  
 1984 *The Folklore Text: From Performance to Print*. Bloomington and Indianapolis: Indiana University Press.
- FINNEGAN, Ruth  
 1977 *Oral Poetry: Its Nature, Significance and Social Context*. Cambridge: Cambridge University Press.  
 1981 *Literacy and Orality*. Oxford: Basil Blackwell.  
 1992 *Oral Traditions and the Verbal Arts*. London: Routledge.
- 傅 惜華  
 1962 『北京伝統曲藝総録』北京：中華書局。
- GOODY, Jack  
 1977 *The Domestication of the Savage Mind*. London: Cambridge University Press.  
 (J. グディ 1986『未開と文明』吉田禎吾訳 東京：岩波書店。)
- GOODY, Jack (ed.)  
 1968 *Literacy in Traditional Societies*. London: Cambridge University Press.
- 国家統計局人口統計司(編)  
 1992 『中国人口統計年鑑1991』北京：中国統計出版社。
- 河北省文化庁文化志辦公室『中国曲藝志・河北巻』編輯部(編)  
 1988 『河北文化藝術志・河北曲藝資料滙編』石家荘：河北省文化庁文化志辦公室。
- 河南省虞城县文化館編印  
 1982 『花草集』河南省虞城县：虞城县文化館。
- 井口淳子  
 1989 「中国北方農村における語り物音楽——樂亭大鼓の『書』とパフォーマンス」『音楽学』35 (2): 88-100。  
 1991 「中国北方農村の口承文化——書かれたものと語られるものを中心に」『日中文化研究』2: 185-194 東京：勉誠社。  
 1993 「物語を伝える『うた』、『語り』、『はなし』——中国農村の語りものをめぐる芸能ジャンルの相互関係」谷村晃先生退官記念論文集編集世話人編『音と言葉』東京：音楽之友社，pp. 340-353。
- 川田順造  
 1992 『口頭伝承論』東京：河出書房新社。
- 劉 復・李家瑞等(編)  
 1932 『中国俗曲総目稿』北京：中央研究院。
- LORD, Albert B.  
 1965 *The Singer of Tales*. New York: Atheneum. (first published 1960)  
 1986 The Nature of Oral Poetry. In Miles J. Foley (ed.), *Current Issues in Oral Literature Research: A Memorial for Milman Parry*, Columbus, Ohio: Slavica, pp. 313-349.
- 倪 鐘之  
 1991 『中国曲藝史』瀋陽：春風文芸出版社。
- ONG, Walter J.  
 1982 *Orality and Literacy: The Technologizing of the Word*. London and New York:

- Methuen. (W.J. オング 1991『声の文化と文字の文化』桜井直文他訳 東京：藤原書店。)
- PLAKS, Andrew H. (ed.)  
1977 *Chinese Narrative: Critical and Theoretical Essays*. Princeton: Princeton University Press.
- 上海藝術研究所, 中国戲劇家協会上海分会 (編)  
1981 『中国戯曲曲藝詞典』上海：上海辞書出版社。
- 唐山地区文化局戯研室  
1981 『樂亭大鼓資料選』唐山：唐山地区文化局戯研室。
- 唐山市曲藝志編輯部 (編)  
1989 『唐山市曲藝史料匯編』唐山：唐山市曲藝志編輯部。
- 楊 亮才 (主編)  
1989 『中国民間文藝辞典』蘭州：甘肅人民出版社。
- 張 鴻懿  
1984 「鼓詞探源」『中国音楽』1984 (1): 30。
- 趙 桂丹  
1985 『樂亭大鼓史話』中国曲藝家協会唐山市曲協輯印。
- 趙 景深  
1936 『大鼓研究』上海：商務印書館。  
1957 『鼓詞選』上海：古典文学出版社。
- 鄭 振鐸  
1938 『中国俗文学史上・下』北京：商務印書館。
- 中国大百科全書総編輯委員会 (編)  
1983 『中国大百科全書・戯曲 曲藝』北京：中国大百科全書出版社。
- 中国曲藝家協会河北分会 (編)  
1981 『樂亭大鼓座談会 (資料集)』石家荘：中国曲藝家協会河北分会。
- コンパクト・ディスク  
井口淳子 (編)  
1992 『書をかたる——中国北方農村の語り物音楽』藤井知昭監修『地球の音楽——フィールドワーカーによる音の民族誌』第60巻 (VTCD-60) 東京：日本ビクター・ビクター音楽産業。